



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

## 第 11 回定時総会

### 資 料

開催日:2023年6月 25(日) 13:30～(受付 13:00～)

会 場:千葉県社会福祉センター 大研修室

## 次 第

### □議事

議案第1号 2022年度事業報告及び決算報告について (2022年度監事監査報告書)	.....1
---	--------

議案第2号 役員の選任について	.....42
-----------------	---------

議案第3号 倫理委員会委員の選任について	.....42
----------------------	---------

議案第4号 ぱあとなあ運営委員会 前回報告の訂正について	.....43
------------------------------	---------

### 報 告 事 項

報告第1号 2023年度事業計画及び予算について	.....44
--------------------------	---------

総会に諮る事項は定款第 21 条に定められた事項に限られ、また法人法第 49 条第 3 項の規定により予め通知した事項以外を議決することはできません。

会員から本会へ意見発信する機会を保障するため、議案に対する意見募集を行います。

議案に対しご意見のある方は、本会 Web サイト (<http://www.cswchiba.com/>) を参照の上 2023 年 6 月 10 日 (土) から同 6 月 19 日 (月) 必着でご提出願います。

また郵送・ファックスでもご意見を承りますので、千葉県社会福祉士会事務局までご提出ください。

なお、寄せられたご意見は取りまとめの上、会員氏名(姓のみ)および意見内容を Web サイトおよび総会会場にて公開いたします。予めご了承下さい。

#### <議案に対するご意見のご提出先>

※2023 年 6 月 19 日 (月) 必着

名称：一般社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

住所：〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 4-5

千葉県社会福祉センター5 階

FAX：0 4 3 - 2 3 8 - 2 8 6 7

## 議案第 1 号

### 2022 年度事業報告及び決算報告について

以下に掲載する 2022 年度事業報告書及び決算報告について、総会の承認を求めます。

#### 2022 年度 事業報告

2022 年度においても新型コロナウイルス感染症の第 7 波および第 8 波により制約を課されたなかでの事業活動となったが、ICT チームの支援もあり研修や集会・会議の類はオンライン開催も普通となり、一部では会場と zoom をつないだハイブリット開催も取り入れ、計画していた事業についてはほぼ実施することができた。第 8 回理事会で承認された補正予算案において、当初予算で計上していた繰越金の投入を行わないで事業の執行を終える見込みを得ることができた。

長引くコロナ禍の影響により、生活の困窮とともに人と人とのつながり・交流が分断され孤独・孤立で悩んでいる方々に対して、その相談先となり、緊急的に各種支援施策を届けるためのモデル的な取り組みとして「孤独・孤立相談ダイヤル」の相談対応に内閣府の求めに応じて協力した。

一昨年度の「事業と予算のあり方検討委員会」の報告と経営戦略会議の結果を受け、会員との交流を図る機会として「談話室」を 4 回開催した。

公益社団法人日本社会福祉士会（以降、日本会）より提案があった若年層の入会促進キャンペーン（30 歳以下を対象に入会金及び年会費を入会年度に限り無料とする）を当会でも導入し、85 名の入会者中 11 名が対象となった。

今年度「経営戦略会議」で、令和 5 年度重点事業を検討し、ICT 活用による情報の管理・発信の効率化を進め、事務局と委員会活動の事務分担を整理すること、会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供できるよう委員会・地区の再編を行うこと、会のあり方を議論する場を設け、中長期的に（5 年後を見据え）取り組むべきことを検証することを前年度重点事業に追加することとなった。

ICT 化の取り組みとしては、神奈川県社会福祉士会へ視察に行き、事務局、委員会、会員のそれぞれの負担軽減や効率化、利便性を参考にさせていただいた。今後は、会全体として ICT 化に力を入れ、ばあとなあから積極的に進めていき、順次、他の委員会等での活用を目指していく。具体的には、申し込みフォームの導入や委員会ごとのメールの複数管理、会員情報のデータベース管理、クラウド化を段階的に進めていく。

今後も事業予算の精査を進め、適正な事業の執行と会の運営を確実にするために執行後の収支決算との差異を縮める努力を続けていかなければならない。

災害対策は委員会活動として千葉県 DWAT シミュレーション訓練、九都県市合同防災訓練（千葉県会場）、内閣府の災害支援促進研修に参加した他、新規事業としてコミュニケーションメディア『災・コ・メ』を創刊し、被災地支援活動協力員メーリングリストにて 3 回メール添付送信した。

ばあとなあの活動は、千葉家庭裁判所（以降、家裁）からかの後見人の依頼が約 468 件、合計 1,922 件となっている。各自治体への中核機関の委員や講師派遣、県民からの権利擁護の電話相談を担当している。日本会の活動報告システムを導入し、ICT 化、ペーパーレス化を進めている。

他団体等の協働事業として、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協

議を行い、『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識の研修を実施した。

千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体「福祉と司法の連絡協議会」では、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとこころの相談会」「福祉と司法の千葉県キャラバン特別企画～子ども・若者のアドボカシーについて考えよう～」への参加協力を行った。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画した。

こども・若者分野については、国に、こども家庭庁が創設、成人年齢の18歳への引き下げがあり、変革期とも言える。会としても、スクールソーシャルワーカーで活動している会員の場合、また、社会問題であるいじめ、子どもの貧困、ヤングケアラー、児童虐待防止、ケアリーバー等についても今後、学びや連携の場を検討していきたい。

地域共生社会の実現にむけ、具体的な形として重層的支援体制整備事業が示され、県内でも複数の自治体で本事業が実施される中、総合的かつ横断的な相談支援のあり方を検証する必要がある。私たちはソーシャルワーカー団体としての役割を確認して活動を継続していく。

各自治体の委員等の推薦については、2022年度から試験的に会員自身がエントリーシートを記入、資格や経験のほか、当会の活動状況、貢献度を選考基準とした。今後、原則4期8年を上限等のルール化も検討していく。

千葉県社会福祉センターの新設移行に伴い当会の事務局も同センター5階へ年度末に移転した。入館している千葉県社会福祉協議会や介護福祉機関、当事者団体等とも連携していく機会としたい。

## 1. 総会及び理事会の開催と会の運営

### 【総会】

#### 第10回定時総会

開催日 2022年6月26日

議案第1号 2021年度事業報告及び決算報告について（2021年度監事監査報告書）

議案第2号 役員の選任について

議案第3号 規則第4号 報酬等に関する規則の変更について

議案第4号 規則第5号 負担金規則の改廃について

### 【理事会】

#### 第1回理事会

開催日 2022年5月15日 千葉県社会福祉センターおよびZoomによるWeb併用会議

出席者 渋谷、山口（利）、宮本、古澤、樽林、及川、堀江、秦野、谷口、前田、長嶋、四ノ宮、宮下、安藤、服部、若林、山田、葛田、片山、山口（定）、市原、岡本（武）、常陸谷、白井、浅見、松本、石橋、伊藤、高橋

欠席者 山下

#### <議事・報告>

- ・ 事務局人事について
- ・ 2022年度総会資料（案）について  
2021年度事業報告・決算報告について
- ・ 役員選任について
- ・ 規則変更（案）について

- ・ 経営戦略会議からの報告について
- ・ システム（神奈川県社会福祉士会視察）導入について

## 第2回理事会

開催日 2022 年 6 月 26 日 千葉県社会福祉センターおよび Zoom による Web 併用会議  
 出席者 渋谷、山口（利）、宮本、古澤、樽林、及川、堀江、秦野、前田、長嶋、四ノ宮、宮下、  
 安藤、服部、若林、山田、山口（定）、市原、岡本（武）、常陸谷、白井、浅見、松本、  
 石橋、伊藤、高橋  
 欠席者 谷口、山下、葛田、片山

### <議事・報告>

- ・ 代議員の候補者について
- ・ 第 10 回定時総会及び意見交換会について
- ・ 第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会について
- ・ 「統一的な相談窓口体制の推進」への協力依頼について
- ・ 入会促進キャンペーンについて（意見交換）

## 第3回理事会

開催日 2022 年 6 月 26 日 千葉県社会福祉センター 5 階大研修室  
 出席者 樽林、山口（利）、古澤、白井、秦野、瀧澤、松本、及川、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、  
 服部、伊藤、高橋、市原、岡本（武）  
 欠席者

### <議事・報告>

- ・ 新役員による会長互選および三役の選任

## 第4回理事会

開催日 2022 年 8 月 7 日 Zoom による Web 会議  
 出席者 樽林、山口（利）、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、  
 伊藤、服部、片山、吉留、中村、水野、市原、岡本（武）、渋谷  
 欠席者 高橋、山下

### <議事・報告>

- ・ 事務局職員の採用について
- ・ 法人後見について
- ・ 高齢者虐待対応研修について
- ・ 令和 5 年度予算編成について
- ・ 経営戦略会議後の取り組みについて
- ・ 入会促進退会抑制について
- ・ 委員会の再編について
- ・ 受託事業について
- ・ 「高齢者虐待防止法の改正を視野にいれた提言についての意見募集」について

## 第5回理事会

開催日 2022 年 9 月 4 日 Zoom による Web 会議

出席者 榎林、山口（利）、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、  
服部、片山、中村、水野、山下、吉留、市原、渋谷

欠席者 伊藤、高橋、岡本（武）

<議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて
- ・ 談話室の開催について
- ・ Zoom のアカウント管理とスケジュールリングについて
- ・ 事務局職員の採用後について
- ・ 令和5年度予算編成及び事業計画について
- ・ 理事会開催に伴う資料提出期日等について
- ・ 新入会員（3 人）の承認について
- ・ 各委員会の委員の選任及び委嘱状交付について
- ・ 外国人の生きる権利を考える会について
- ・ ばあとなあ千葉より

第6回理事会

開催日 2022 年 11 月 6 日 千葉県社会福祉センター大研修室

出席者 榎林、古澤、白井、秦野、及川、伊藤、松本、浅見、四ノ宮、宮下、服部、中村、水野、  
吉留、市原

欠席者 山口、瀧澤、高橋、石橋、岡本（武）、片山、山下

<議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて
- ・ 談話室の開催について（ウェルカムパーティと今後について）
- ・ 令和5年度事業計画・予算編成について（スタッフ報酬とヒヤリング）
- ・ ICT 化への取り組み
- ・ 新社会福祉センターへの移転について（4月1日開館）
- ・ 代議員の定数未達について
- ・ 2022年度 関東甲信越ブロック連絡協議会の開催について
- ・ 外部委員の推薦について（プロジェクトチームの編成）
- ・ 各委員会の委員の選任及び委嘱状交付（倫理委員会の委員補欠の選任）について
- ・ 新入会員（10名）の承認について
- ・ インボイス制度について一登録申請手続きの承認について
- ・ 災害対策委員会からの承認事項

第7回理事会

開催日 2023 年 1 月 22 日 Zoom による Web 会議

出席者 榎林、山口（利）、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、  
服部、高橋、片山、中村、水野、吉留、市原、渋谷

欠席者 伊藤、岡本（武）、山下、竹嶋

<議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて
- ・ 談話室の開催について
- ・ 外部委員の推薦について
- ・ 経営戦略会議について
- ・ 2022 年度 関東甲信越ブロック連絡協議会の開催について
- ・ 新社会福祉センターへの移転について（4 月 1 日開館）
- ・ 事務局人事について
- ・ インボイス制度の進捗について
- ・ 代議員の定数未達について
- ・ 次年度理事会開催日程案
- ・ 新入会員の承認について
- ・ J C 模擬試験（J C 教育研究所）との継続契約について
- ・ e ラーニングの導入について（導入する場合は日本社会福祉士会へ 年間 4 月～翌年 3 月 165,000 円支払う）
- ・ ばあとなあ受任会費の使途拡大と上限廃止について

## 第 8 回理事会

開催日 2023 年 3 月 12 日 Zoom による Web 会議

出席者 樽林、山口（利）、古澤、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、宮下、伊藤、片山、  
中村、水野、吉留、市原、岡本（武）、渋谷

欠席者 白井、服部、石橋、高橋、竹嶋

### <議事・報告>

- ・ 談話室の開催について（3 月 26 日日曜 19:00～20:30 入社直前 フォローアップ交流会）
- ・ 2022 年度 関東甲信越ブロック連絡協議会幹事報告について
- ・ SW3 団体研修について
- ・ 新社会福祉センターへの移転について
- ・ 事務局人事について
- ・ 外部理事（山下興一郎様）退任報告および外部委員の推薦について
- ・ 退会者について
- ・ 2022 年度補正予算案および 2023 年度予算案
- ・ 2023 年度事業計画案
- ・ 総合相談委員会の新規委員メンバーの承認
- ・ J C 模擬試験（J C 教育研究所）の 2024 年度の契約無効の取消し願い
- ・ ばあとなあ運営委員会の新規運営委員の承認
- ・ 司法福祉委員会の事業におけるスタッフ報酬について

## ●「談話室」の開催

本年度から、会員が、ふらっと立ち寄り、何とはなしに、語り合えたり、他の人が語り合っている話を横で聞いていたりできる場が欲しいねということで、理事会開催後に談話室を設けた（第 4 回だけは別日）。各回とも活発な意見交換が行われ交流が図れた。

(第1回) 9月4日 13:30～14:30 オンライン

内容：電話相談 参加者：9名

(第2回) 11月6日 14:00～16:00 千葉県社会福祉センター5階大研修室

内容：ウェルカムパーティー

ミニ講座「倫理綱領」、他の社会福祉士に聞いてみたいこと、名刺交換会 参加者：29名

(第3回) 1月22日 14:00～16:00 オンライン

内容：思っていることをどんどん語ろう！ 参加者：7名

(第4回) 3月26日(日) 19:00～20:30 オンライン※県内の養成校へチラシ配布

内容：先輩SWからワンポイントアドバイス(高齢分野、障害分野、独立型事務所、行政、社協)、  
不安を解消する質問コーナー 参加者：11名

## 2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

- 第二期成年後見制度利用促進基本計画説明会

出席者：四ノ宮 章氏、古澤 肇氏、服部 明氏、太田 和美氏、吉田 愛子氏、武藤 州範氏、朽名 高子氏、遠坂 貴志氏、今川 純子氏、小川 晴雄氏、越後谷 恒春氏、梶原 幸夫氏

- 2022年度第1回 全国生涯研修委員会議

出席者：浅見 雅人氏

- 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会(オンライン)

出席者：市原 久夫氏

- 2022年度第1回生涯研修センター協議会

出席者：樽林 元樹氏

- 2022年度実習指導者講習会講師養成研修(5/16～6/19 視聴含む)

出席者：浅見 雅人氏

- 第34回通常総会

出席者：樽林 元樹氏

- 2022年度新スーパーバイザー養成研修

出席者：宮下 朱実氏

- 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員

出席者：南野 奈津子氏

- 2022年度都道府県社会福祉士会会長会議(ZOOM開催)

出席者：樽林 元樹氏

- 倫理綱領・行動規範伝達研修 講師養成研修

出席者：市原 久夫氏、松本 友寿氏、石橋 大輔氏

- 2022年度 都道府県ぱあとなあ連絡協議会

出席者：古澤 肇氏、四ノ宮 章氏、石橋 大輔氏、長尾 景子氏

- 2022年度第2回生涯研修センター協議会

出席者：白井 正和氏

- 第2回全国生涯研修委員会議



出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏

2022 年度 生活困窮者支援ソーシャルワーク研修

出席者：本間 貴大氏

- 都道府県社会福祉士会 災害担当者会議

出席者：服部 明氏

- 2022 年度ばあとなあ関東甲信越ブロック連絡会

出席者：古澤 肇氏、四ノ宮 章氏

- 2022 年度基礎研修講師養成研修

出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏、堀江 亜希子氏、小野寺 浩氏、竹村 葉子氏

- 地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）

出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏、宮本 哲男氏、石橋 大輔氏、塩原 貴子氏、福間 勝可氏

- 意思決定支援指導者養成研修

出席者：白井 正和氏

- 2022 年度関東甲信越ブロック社会福祉士会連絡協議会（幹事県）

出席者：樽林 元樹氏、山口 利史氏、古澤 肇氏、秦野 隆治氏、及川 哲氏、伊藤 佳世子氏

- 2022 年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流集会

出席者：市原 久夫氏、山田 茜氏、安井 飛鳥氏、池原 星子氏

- 2022 年度臨時総会（ZOOM 開催）

出席者：樽林 元樹氏

### 3. 本会が推薦した各種委員等

#### 【外部委員（推薦）】

- 匝瑳市社会福祉協議会 匝瑳市社会福祉協議会法人後見運営委員

推薦：常陸谷 政彦氏

- 流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター地域ネットワーク会議委員

推薦：古澤 肇氏

- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター令和 4 年度候補者調整会議

推薦：四ノ宮 章氏

- 市川市社会福祉協議会 アドバイザー

推薦：三橋 俊一氏、池田 雅弘氏、石崎 麻美氏

- 船橋市 地域包括ケア推進課 船橋市権利擁護に関する事例検討会議構成員

推薦：赤堀 久理子氏

- 柏市 地域包括支援課 柏市権利擁護ネットワーク会議（全体会）、高齢者に関する専門部会委員、成年後見制度に関する専門部会委員

推薦：古澤 肇氏

- 松戸市社会福祉協議会 松戸市成年後見制度利用促進協議会委員

推薦：小川 晴雄氏

- 浦安市 障がい事業課 浦安市高齢者・障がい者権利擁護協議会委員

推薦：長尾 景子氏

- 千葉県社会福祉協議会 千葉県地域福祉フォーラム幹事会委員  
推薦：宮本 哲男氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県運営適正化委員会委員  
推薦：目黒 義昭氏、宮間 秀二氏
- 茂原市社会福祉協議会 もばら後見支援センターもばら後見支援センター運営委員  
推薦：北山 静香氏
- 千葉市保健福祉総務課 千葉市社会福祉審議会委員  
推薦：岡本 武志氏
- 佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター受任調整会議及び運営会議事例検討会  
推薦：高美 修次氏
- 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和３年度千葉県地域リハビリテーション協議会員  
推薦：松本 友寿氏
- 千葉県健康福祉部高齢者福祉課 認知症対策推進班 千葉県認知症対策推進協議会委員  
推薦：平野 香氏
- 千葉県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター千葉県新地域支援事業推進協議会  
推薦：井上 幸子氏
- 木更津市社会福祉協議会 木更津市権利擁護推進会議委員  
推薦：遠坂 貴志氏
- 木更津市社会福祉協議会 木更津市重層的支援会議専門職アドバイザー  
推薦：遠坂 貴志氏
- 八千代市 長寿支援課 八千代市介護認定審査会委員  
推薦：中山 敏子氏、三橋 俊一氏、吉原 比呂美氏、市川 澄子氏
- 船橋市 介護保険課 船橋市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、助川 未枝保氏、福島 節子氏、服部 明氏
- 市原市社会福祉協議会 市原市成年後見支援センター 成年後見制度利用促進協議会委員  
推薦：朽名 高子氏
- 成田市高齢者福祉課 成田市成年後見支援センター成田市成年後見制度利用促進協議会委員  
推薦：高橋 利宏氏
- 浦安市社会福祉協議会 後見支援委員会委員  
推薦：長尾 景子氏
- 袖ヶ浦市社会福祉協議会 権利擁護推進会議委員  
推薦：梶原 幸夫氏
- 船橋市 介護保険課 船橋市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、福島 節子氏、助川 未枝保氏、服部 明氏
- 八千代市 長寿支援 八千代市介護認定審査会委員  
推薦：中山 敏子氏、三橋 俊一氏、吉原 比呂美氏、市川 澄子氏
- 市原市 高齢者支援課 市原市介護認定審査会委員  
推薦：勝亦 雅美氏、増田 宏幸氏、佐藤 裕幸氏
- 佐倉市 高齢者福祉課 成年後見制度利用促進に関する検討会委員  
推薦：高美 修次氏
- 市原 市共生社会推進課 市原市成年後見制度利用促進審議会委員

推薦：朽名 高子氏

- 市原市 共生社会推進課 市原市地域福祉推進協議会委員  
推薦：大戸 優子氏
- 野田市 社会福祉協議会 野田市成年後見支援センター運営委員  
推薦：井部 泰子氏
- 船橋市 障害福祉課 船橋市障害者介護給付費等認定審査会委員  
推薦：薄井 哲子氏、齊藤 茂雄氏、本間 直毅氏、矢島 陽一氏、助川 未枝保氏、  
山崎 利枝氏
- 千葉市 生涯福祉サービス課 千葉市障害者介護給付判定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、矢島 陽一氏、竹嶋 信洋氏、堀江 亜紀子氏
- 八千代 市社会福祉協議会 成年後見運営委員  
推薦：市川 澄子氏
- 野田市 高齢者支援課 野田市介護認定審査会委員  
推薦：古澤 肇氏
- 松戸市 介護保険課 松戸市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 真一氏、加賀谷 栄岳氏、井部 泰子氏、石橋 大輔氏
- 四街道市 四街道市介護認定審査会委員  
推薦：中山 達雄氏、大藤 康弘氏、高橋 利宏氏
- 八街市 高齢者福祉課 八街市高齢者福祉計画策定審議会委員  
推薦：吉井 稔氏
- 浦安市 障がい福祉課 浦安市介護給付費等の支給に関する審査会委員  
推薦：宮崎 淳子氏、樽林 元樹氏
- 市原市 保健福祉部障がい者支援課 市原市障害者介護給付費等審査会委員  
推薦：大戸 優子氏、飯田 俊男氏、佐藤 滋洋氏
- 船橋市地域包括ケア推進課 船橋市権利擁護支援等推進協議会委員  
推薦：山本 誠一氏
- 市原市社会福祉協議会 市原市成年後見支援センター成年後見制度利用促進調整会議  
推薦：朽名 高子氏
- 船橋市 船橋市高齢者虐待防止等ネットワーク運営委員  
推薦：目黒 義昭氏
- 船橋市 船橋市高齢者虐待防止等ネットワーク担当国会議構成員  
推薦：佐藤 むつみ氏

#### 【講師派遣・外部講師依頼】

- 2022 年 6 月 16 日  
富里市中部東地域包括支援センター 富里市介護保険事業者連絡会講師  
講師：秦野 隆治氏
- 2022 年 8 月 31 日  
千葉市社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習生へ講義  
講師：竹嶋 信洋氏
- 2022 年 9 月 6 日(火)

千葉県女性サポートセンター 担当者級会議内高齢者虐待について講義

講師：松本 友寿氏

- 2022 年 9 月 6 日(火)

千葉県女性サポートセンター 障害者虐待についての講師

講師：渋谷 茂氏

- 2022 年 9 月 16 日(金)

千葉市あんしんケアセンター山王 成年後見制度研修

講師：石橋 大輔氏

- 2022 年 9 月 29 日(木)、10 月 3 日(月)、7 日(金)、11 日(火)、12 日(水)、14 日(金)、20 日(木)、25 日(火)、27 日(木)、11 月 9 日(水)、12 月 1 日(木)、2023 年 2 月 2 日(木)

千葉県社会福祉協議会千葉県後見支援センター成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣

アドバイザー：遠坂 貴志氏、長尾 景子氏、四ノ宮 章氏、高美 修次氏、古澤 肇氏、石橋 大輔氏、根本 優子氏、梶原 幸夫氏

- 2022 年 10 月 5 日(水)

浦安市社会福祉協議会 うらやす成年後見支援センター第 4 期浦安市市民後見人養成講座講師

講師：長尾 景子氏

- 2022 年 10 月 12 日(水)

習志野市谷津地域包括支援センター 習志野市介護支援専門員向け研修

講師：松本 友寿氏

- 2022 年 10 月 28 日(金)

柏市社会福祉協議会 令和 4 年度成年後見制度シンポジウム

講師 古澤 肇氏

- 2022 年 11 月 17 日(木)、11 月 24 日(木)

佐倉市社会福祉協議会 令和 4 年度介護職員初任者研修

講師：岡本 崇広氏

- 2023 年 2 月 3 日

千葉県高齢者福祉課 千葉県高齢者虐待防止対策研修(事業所向け)

講師：谷口 さなえ氏

- 2023 年 2 月 5 日

神奈川県社会福祉士会 災害支援活動者養成研修

講師：服部 明氏

- 2023 年 2 月 25 日(土)

佐倉市社会福祉協議会 市民後見人養成講座

講師 岡本 崇広氏、鈴木 将人氏

- 2023 年 3 月 25 日(土) 26 日(日)

山武市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ講座

講師：古澤 肇氏、石橋 大輔氏

#### 4. 後援・協賛

- 2022年6月～2023年2月まで『ZOOM』使用による講習 (株)NHKグローバルメディアサービス  
学校法人敬心学園職業教育研究開発センター2022年度介護教員講習会後援
- 2022年9月17日 特定非営利活動法人リンク  
特別研修会「認知症とともにあたりまえに生きていく」後援
- 2022年10月30日 千葉県歯科医師会  
ちば県民いい歯とお口の健康ウィーク ～いい歯のイベント2022～」後援
- 2022年11月3日 千葉県がん患者大集合2022実行委員会  
千葉県がん患者大集合2022後援
- 2022年11月9日 千葉県社会福祉協議会  
第72回千葉県社会福祉大会後援
- 2022年12月1日～2023年1月15日および2月13日～3月31日(動画配信) 成田市社会福祉  
協議会 精神障がい者ピア・サポーター養成講座記念講演会後援
- 2023年1月29日 千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター  
令和4年度福祉のしごとセミナー・福祉のしごとガイダンス 後援
- 2023年2月19日 千葉県介護福祉士会  
「訪問介護フォーラム2022」後援
- 2023年3月5日～2023年3月26日 (一社)千葉県作業療法士会  
第24回千葉県作業療法士学会後援

#### 5. その他の活動

##### 【内閣府への参加協力】

- 「孤独・孤立相談ダイヤル」相談対応
- ① 8月31日～9月5日 12人  
樽林 元樹氏、白井 正和氏、伊藤 佳世子氏、古澤 肇氏、渋澤 茂氏、安藤 宏之氏、及川  
哲氏、山口 利史氏、宮下 朱実氏、飯田 義也氏、服部 明氏、市原 久夫氏
- ② 12月1日 8人  
樽林 元樹氏、白井 正和氏、伊藤 佳世子氏、及川 哲氏、宮下 朱実氏、服部 明氏、古橋  
由香、谷口さなえ氏
- ③ 12月28日～29日 11人  
服部 明氏、飯田 義也氏、谷口 さなえ氏、前田 久美子氏、及川 哲氏、宮下 朱実氏、古橋 由  
香氏、青木 一磨氏、堀江 亜希子氏、伊藤 佳世子氏、白井 正和氏
- 2023年1月16日(月)午後1時～午後4時30分 内閣府災害支援促進研修  
出席者：服部 明氏

##### 【千葉県への協力】

- 2022年6月28日(火)  
千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和3年度千葉県地域リハビリテーション協議会  
出席：松本 友寿氏
- 2022年8月4日(木)  
千葉県教育庁生徒指導・いじめ対策室 令和4年度いじめ問題対策連絡協議会

出席：安井 飛鳥氏

- 2022 年 9 月 7 日(水)

千葉県健康福祉部健康づくり支援課 第 2 回千葉県地域リハビリテーション協議会

出席：松本 友寿氏

- 2022 年 10 月 23 日(日)

千葉県防災危機管理部防災対策課災害対策室 第 43 回(令和 4 年度)九都県市合同防災訓練  
(千葉県会場訓練)

出席：服部 明氏、伊藤 佳世子氏

#### 【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2022 年 6 月 7 日(火)

令和 4 年度第 1 回理事会(決議の省略) → 渋澤 茂氏(同意書 郵送)

- 書面開催

令和 4 年度千葉県介護保険関係団体協議会総会

- 2022 年 7 月 12 日(火)

千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和 4 年千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第 1 回定例会

出席：服部 明氏、伊藤 佳世子氏、山口 利史氏

- 2022 年 8 月 3 日(水)

千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 生活支援体制づくりに関する印旛圏域の情報交換会

出席：井上 幸子氏

- 2022 年 9 月 22 日(木)

千葉県社会福祉協議会 令和 4 年度千葉県後見支援センター関係機関連絡会議

出席：古澤 肇氏

- 2023 年 1 月 16 日(火)

千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和 4 年度「多様な主体間における連携促進のための研修会」

出席：服部 明氏

- 2023 年 1 月 27 日(土)

千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和 4 年度 千葉県災害ボランティアセンター図上訓練

参加者：服部 明氏

- 2023 年 3 月 8 日

千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和 4 年度千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第 3 回定例会

出席：伊藤 佳世子氏

#### 【市町村及び他団体への協力】

- 2022 年 5 月 19 日

松戸市常盤平地域包括支援センター 地域包括ケア推進会議

出席者：小野 恵美子氏

- 2022 年 6 月 2 日(木)

千葉県災害復興支援士業ネットワーク 意見交換会

出席：服部 明氏

- 2022 年 7 月 22 日(土)

厚生労働省成年後見制度利用促進室（ZOOM 開催へ変更）成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護支援に係る地域巡回自治体セミナー 出席：四ノ宮 章氏、服部 明氏

- 2022 年 7 月 29 日(金)

佐倉市社会福祉協議会 令和 4 年度佐倉市成年後見支援センター第 1 回運営会議及び受任調整会議 出席：高美 修次氏

- 2022 年 9 月 15 日(木)

介護労働安定センター 令和 4 年度第 1 回介護労働懇談会

出席：白井 正和氏

- 2022 年 9 月 17 日(土)

千葉県弁護士会 暮らしと心の相談会相談員

出席：白井 正和氏、服部 明氏、飯田 大輔氏

- 11/7・12/1・12/13 のいずれかおよび 12/16、 オンデマンド研修（10/3～2 月末）

厚生労働省一般財団法人長寿社会開発センター成年後見 都道府県アドバイザー研修

出席：古澤 肇氏

- 2023 年 3 月 23 日(木)

千葉県災害復興支援士業ネットワーク 士業ネットワーク意見交換会

出席：服部 明氏

- 2023 年 3 月 25 日(土)

千葉県弁護士会 暮らしと心の相談会相談員（自殺対策強化月間全国一斉開催）

出席：榎林 元樹氏、桎尾 則美氏、山崎 泰介氏、間島 淳子氏、塩原 貴子氏

## 6. 各委員会・部会

### (1) 総務委員会

#### ① 企画部会

- 企画部会・世話人合同会議

(第 1 回)日時:8 月 25 日(木)19:00～20:00

参加者:7 名

#### ① 報告事項

地域集会について、第1回千葉県いじめ対策連絡協議会、福祉と司法の千葉県連絡協議会、談話室開催

#### ② 協議事項

10 年後、千葉県社会福祉士会がどうなっていればいいのか？

(第 2 回)日時:10 月 24 日(月)19:00～20:00

参加者:13 名

#### ① 報告事項

地域集会について、世話人募集、点と線での地域集会特集記事掲載

## ② 協議事項

若い社会福祉士の会への参加促進

(テーマ別 オンラインミーティング)日時:12月16日(金)19:00～21:00

参加者 6名(部会員限定せず参加希望者を募り意見交換)

## ② 協議事項

若手が活躍できる場について

## ア 地域集会

ウィズコロナの情勢下、前年度はほぼオンライン開催だったところ、14回開催のうち、8回は集合形式もしくはハイブリット型で開催された。オンラインの特性を生かし、すべての地域集会が、参加対象を県全域とした。

昨年度、「事業と予算のあり方検討委員会報告」で課題とされた「地域集会の活性化を含めた根本議論」を踏まえ、地域集会開催要綱を改訂し、世話人以外の会員が、自主的な企画を地域集会として企画し開催、会員への周知、費用の補助等を活用できることとなった。

会報誌「点と線」で、地域集会を特集し、新たなネットワークを開拓、創造していくことを希望した方に、インターネットフォームに登録していただくと、後日、担当理事から連絡し、補助制度、世話人を紹介する体制をとった。

<地域集会開催内容> 延べ14回 243名(前年度延11回 194名)

	地域	内容	開催場所・形式	参加人数
5月18日(水) 19:00～21:00	市川・浦安・松戸地区＋ 第89回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)合 同	「事例道場 ～自分の仕 事を知ってもらうに は～」	オンライン	19名
7月18日(月・祝) 10:00～15:00	印西・白井・栄・成田・富 里・酒々井・佐倉・四街 道・八街地区	シンポジウム「権利擁護 とは何か?～それぞれ の領域からの知見～」、 交流会	佐倉市南部地域 福祉センター ＋オンライン	32名
7月20日(水) 19:00～21:00	第90回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	「国籍・宗教・ことばの違 いを越え、地域で共に生 きるには」	オンライン	16名
8月20日(土) 14:30～16:30	長生・夷隅地区	「LGBTを知ろう!」 講義及びグループディス カッション	東郷福祉センタ ー＋オンライン	19名
8月27日(土) 10:00～12:00	千葉市花見川区・習志 野市・八千代市地区＋	ソーシャルワーク実践報 告「キャンパス・ソーシャ	オンライン	10名



	船橋市・鎌ヶ谷市地区 合同地域集会	ルワークとは～大学にお ける社会福祉士採用」  参加者の意見交換・交 流		
9 月 10 日(土) 18:00～19:30	山武・東金・芝山・横芝 光・大網白里・九十九里 地区	ソーシャルワーク実践パ ート 1(医療・児童・障が い分野編)	成東中央公民館 + オンライン	22 名
9 月 21 日(水) 19:00～21:00	第 91 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	経験談、悩み相談	オンライン	9 名
10 月 9 日(日) 13:00～16:00	市川・浦安・松戸地区	自己紹介  第 2 部 交流タイム	いもっこかふえ	13 名
11 月 16 日(水) 19:00～21:00	第 92 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	近況報告	柏市社会福祉協 議会 いきいきプ ラザ内	12 名
1 月 18 日(水) 19:00～21:00	第 93 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	おすすめ本の魅力をプ レゼンバトル	オンライン	8 名
2月 11 日(土・祝) 18:00～20:00	山武・海匝・香取地区合 同地域	ソーシャルワーク実践パ ート2(高齢・地域福祉・ 分野編)	成東中央公民館 + オンライン	24 名
2 月 24 日(金) 19:00～21:00	市原地区	自己紹介・現状報告等	さかなや道場	30 名
3 月 15 日(水) 19:00～21:00	第 94 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	『支えている人を支える ために ～ヤングケアラ ーを支援するということ ～』	ケアラズカフェ & オレンジカフェ みちくさ亭+オン ライン	15 名
3 月 17 日(金) 18:45～20:15	千葉市緑区	緑区障害者基幹相談支 援センターについて、近 況報告	オンライン	14 名

## イ 組織強化のための他の職能団体との協働研究

### ● 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行い、研修を実施。

『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識

開 催 日:2月19日(日)13時半~17時

場 所:オンライン 撮影 千葉市中央区基幹型相談支援センター 会議室

参 加 者:42名

内 容:南野 奈津子教授による講義、グループワーク、参加者による情報交換

#### ● 福祉と司法の千葉県連絡協議会

2017年千葉県弁護士会の呼びかけで誕生した。千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画。

#### ● 令和4年度千葉県いじめ問題対策連絡協議会

開催日:8月4日(木)

いじめは、家庭に貧困などの背景も影響している。誰も加害者にも被害者にもしないような包括的なアプローチが必要ではないか。いじめ問題というと被害者の救済に焦点があてられがちだが、加害者を生み出している構造へ働きかけていくことにソーシャルワークの意義があることを理事会などで共有した。

#### ● 子ども若者のアドボカシーについて考えよう

開催日:3月5日(日)13時半~16時

場 所:千葉県弁護士会館 オンライン併用

内 容:講義 内閣官房こども家庭長設立準備室政策 参与 川瀬信一氏

全国子どもアドボカシー協議会 委員 元要保護児童当事者と弁護士会、社会福祉士会、PSW協会、MSW協会からの登壇者によるシンポジウム

#### ● 「暮らしとこころの相談会」相談員派遣

開 催 日:9月17日(土)13:00~16:00

場 所:香取市佐原中央公民館

派遣相談員:服部 明氏、白井 正和氏、飯田 大輔氏

開 催 日:3月25日(土)13:0~16:00 自殺対策強化月間全国一斉開催

場 所:ライフアップ習志野

派遣相談員:樽林 元樹氏、桎尾 則美氏、山崎 泰介氏、間島 淳子氏、塩原 貴子氏

## ② 広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2022年度 年3回発行

zoomを活用したインタビュー方式を新たに取り入れ、対談形式での記事づくりに新たに取り組みました。また、表紙に掲載広告を導入し、会の収入確保に取り組みました。

(実績:広告掲載5回(2社)11,000円×5=55,000円)

● 第 109 号 <<特集>>新理事紹介「自分の栄養分」

- ・社会福祉士のわ
- ・トピックス「地域支援業務の醍醐味」
- ・温泉逍遥
- ・掲載広告募集
- ・地域集会
- ・事務局便り

2022 年 7 月 12 頁 2,500 部発行

配布 会員数 1,568 名(発送 1,081 件、メール配信 487 件)、関係団体 856 件

● 第 110 号 <<特集>>「地域集会を企画しよう」

- 地域集会
- こ・ら・む～ソーシャルワーク実習の受け入れを行って～
- 社会福祉士のわ
- ストレートネックマンの部屋
- 外部理事・相談役紹介
- 事務局便り

2022 年 11 月 12 頁 2,500 部発行

配布 会員数 1,585 名(発送 1,093 件、メール配信 492 件)、関係団体数 855 件

● 第 111 号 <<特集>>「多分野で活躍する SW」

- ・社会福祉士のわ
- ・SW 実習変更のポイント
- ・孤独・孤立相談ダイヤル
- ・談話室 社会福祉士会懇親会に参加して
- ・事務局便り

2023 年 3 月 12 頁 2,500 部発行

配布 会員数 1,581 名(発送 1,073 件、メール配信 508 件)、関係団体数 853 件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

● 研修、求人などの情報提供

イベント掲載 85 件、本会主催の研修 29 件

求人情報 110 件

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業(各年 3 回)

※発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

総合相談委員会では、高齢者虐待対応関連の事業を中心に活動を行った。

今年度も高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業(受託事業)を千葉県か

ら委託を受け開催。昨年度と同様に、新型コロナ感染予防のためオンライン開催とした。オンライン開催と  
なってから参加人数が増加している。

また、高齢者虐待対応専門職チームへのチーム員派遣についても、対応できる会員が減ってきて  
いる。これらの課題を解決するため、令和3年度では日本社会福祉士会が主催する虐待対応専門研修へ  
会員を3名推薦して、うち2名が研修を修了し、令和5年度以降より、一緒に活動する予定である。

一方で県からの委託事業である高齢者虐待防止対策研修事業は、今後委員会から切り離して会の事  
業運営に変更を現在検討している。委員会活動でこの事業を継続していくには一定の限界があるからで  
あり、2023 年度も継続して今後、委員会のあり方も含めて議論していく。

#### ① 高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業(受託事業)

- 管理職、初任者向け

開 催 日:2022 年 8 月 29 日(月) PC接続台数 115 台

開催方法:オンライン研修

- 現任者向け(市町村・地域包括職員向け)

開 催 日:2022 年 12 月 5 日(月) PC接続台数 114 台

2022 年 12 月 13 日(火) PC接続台数 115 台

2022 年 12 月 19 日(月) PC接続台数 105 台

開催方法:オンライン研修

- 専門研修(市町村・地域包括職員向け)

開 催 日:2023 年 3 月 7 日(火) PC接続台数 205 台

開催方法:オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加(受託事業)

・チームメンバー派遣回数 1回

#### ② 相談事業

今年度は参加の機会がなかったため、実施せず。

### (3) 研修委員会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等をオンラインによる開催とし  
た。一方で、一部研修や事業(社会福祉士実習指導者研修、社会福祉士国家試験対策講座等)において  
は、引き続き感染対策の徹底をし、集合型研修の開催を試み、コロナ禍における研修の在り方や研修委  
員会の運営について模索する一年であった。

#### ① 委員会・部会会議

2022年7月22日(金)19:00~21:00全体会議(ZOOM)

出席者: 浅見 雅人、堀江 亜希子、白井 正和、仲野 勢津子、古川 由布子、近藤 涼子、

矢戸 孝紀、竹村 葉子、石山 明子、助川 純子、佐藤 滋洋

・新任理事の紹介

・基礎研修、模擬試験作成、和洋女子大学講義、実習指導者養成講習会等について

2022年12月8日(木)19:00~21:00 コアリーダー会議(ZOOM)

出席者：浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋

・研修委員会 2023年度 予算報告について

基礎研修講師養成研修 必須になる件

国家試験講師と模擬試験講師申し込み進捗状況

2022年1月5日(木)19:30～21:15 コアリーダー会議(ZOOM)

出席者：浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋

- ・基礎研修ⅠⅡⅢ 開催方法の検討
- ・2023年度 基礎研修ⅠⅡⅢ 開催 チラシ日程について
- ・模擬試験作成、和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣講義、実習指導者養成講習会等の報告

2023年1月30日(月)19:00～21:15 コアリーダー会議

出席者：浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋、田尻 真人

- ・千葉県社会福祉士会の事務局員への負担軽減方法
- ・ICT化の促進について

2023年2月13日(月)19:00～21:15 コアリーダーと三役メンバーとの意見交換会議

出席者：

研修委員・・・浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋、田尻 真人      三  
役メンバー・・・榎林 元樹、伊藤 佳世子、山口 利史、古澤 肇、及川 哲、秦野 隆治

- ・来年度の基礎研修開催の有無

2023年2月20日(月)19:00～20:30 コアリーダー会議と三役メンバーとの意見交換会議

出席者：研修委員・・・浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋  
三役メンバー・・・古澤 肇、伊藤 佳世子

- ・2023年度の研修システムの変更と基礎研修の内容について

2023年3月3日(金)19:00～20:30 コアリーダー会議

出席者：浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 滋洋、田尻 真人

- ・基礎研修のチラシ申し込み作成について

2023年3月30日(木)19:00～20:30 コアリーダー会議

出席者：堀江 亜希子、矢戸 孝紀、白井 正和、浅見 雅人

- ・基礎研修ⅠⅡⅢチラシ作成、最後の支払い

【2023年度基礎研修Ⅰ～Ⅲ運営について】

- ・講義はeラーニングを活用し、演習はオンライン研修と一部集合研修を組み合わせ運営を行う。

【委員会の組織化について】

- ・委員の負担軽減と役割分担について

負担が主要メンバーに集中しており、委員の増員を図り、効率的な役割分担を図る。

・その他、受託事業の運営について

委員の人員と事業運営の準備が整い次第、実施に検討に入る。

② 研究大会 県民公開講演

対象講演がない為、中止とした

③ 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等

●基礎研修Ⅰ（一部eラーニング受講及びZOOMにて実施）

第1回：2022年9月3日(土)9:30～17:00

講 師：各委員会委員長、堀江 亜希子                      受講者 55名

第2回：2023年 2月5日(日)基礎研修Ⅰ第2回

講 師：堀江 亜希子、田尻 真人                              受講者 53名

●基礎研修Ⅱ（ZOOMオンライン研修にて実施）

第 1 回：2022年 5 月22日(日)9:30～17:00      講師：小野寺 浩      受講者 48名

第 2 回：2022年 6 月12日(日)9:30～17:00      講師：小野寺 浩、矢戸 孝紀      受講者48名

第 3 回：2022年 7 月17日(日)9:30～17:00      講師：小野寺 浩      受講者 47名

第 4 回：2022年 8 月21日(日)9:30～17:00      講師：矢戸 孝紀      受講者 46名

第 5 回：2022年 9 月25日(日)9:30～17:00      講師：矢戸 孝紀      受講者 49名

第 6 回：2022年 10月 9日(日)9:30～17:00      講師：石山 明子      受講者 49名

第 7 回：2022年11月 13日(日)9:30～17:00      講師：石山 明子      受講者 48名

第 8 回：2022年 12月 4日(日)9:30～17:00      講師：石山 明子      受講者 46名

第 9 回：2023年 1 月15日(日)9:30～17:00      講師：矢戸 孝紀      受講者 49名

第 10回：2023年 9 月19日(日)9:30～17:00      講師：石山 明子      受講者 48名

●基礎研修Ⅲ（ZOOMオンライン研修にて実施）

第 1 回：2022年 5 月21日(土)9:30～17:00      講師：宮下 朱実      受講者 33名

第 2 回：2022年 6 月11日(土)9:30～17:00      講師：田尻 真人      受講者 32名

第 3 回：2022年 7 月16日(土)9:30～17:00      講師：田尻 真人      受講者 31名

第 4 回：2022年 8 月20日(土)9:30～17:00      講師：竹村 葉子      受講者 32名

第 5 回：2022年 9 月24日(土)9:30～17:00      講師：俵 はるみ      受講者 33名

第 6 回：2022年 10月 8日(土)9:30～17:00      講師：俵 はるみ      受講者 33名

第 7 回：2022年 11月12日(土)9:30～17:00      講師：立川 大輔      受講者 32名

第 8 回：2022年 12月 3日(土)9:30～13:00      講師：立川 大輔      受講者 32名

第 9 回：2023年 1 月14日(土)9:30～17:00      講師：立川 大輔      受講者 30名

第 10回：2023年 2 月 4日(土)9:30～17:00      講師：浅見 雅人      受講者 32名

第 11回：2023年 2 月18日(土)9:30～17:00      講師：浅見 雅人      受講者 31名

※基礎Ⅰ～Ⅲ いずれも、第1回開講前に接続テストを行い、受講生の受講環境の確認等を実施

●社会福祉士実習指導者養成研修 ※感染症対策に基づき集合研修を実施

日 時:2022年11月19日(土)、20日(日)

開催場所:千葉県社会福祉協議会(社会福祉研修センター内)

講 師:浅見 雅人氏、白井 正和氏、神山 裕也氏

受講者(修了者):32名

④ 社会福祉士国家試験受験対策

【和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣】

日時:2022年7月14日(水)19:00~20:30

場所 和洋女子大学のzoomを使用

参加者 和洋女子大学:高木秀代先生 庄司妃佐先生

千葉県社会福祉士会:浅見 雅人、宮本 哲男、染野 貴寛、岡本 崇広、白井 正和

内容:大学側からの依頼内容の確認、質疑応答

●和洋女子大学での授業(全19科目)

2022年10月11日(火)~2022年12月20日(火)

講師名(担当科目)

相澤 雅則 氏(保健医療サービス、人体の構造及び疾病)

西澤 将行 氏(障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス)

鈴木 将人 氏(低所得者に対する支援と生活保護制度)

堀江 亜希子氏(心理学理論と心理的支援)

岡本 崇広 氏(児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ、社会理論と社会システム 直前対策講義)

立川 大輔 氏(現代社会と福祉、福祉サービスの組織と経営)

岡田 英明 氏(権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法)

浅見 雅人 氏(高齢者に対する支援と介護保険制度、社会調査の基礎、社会保障)

石山 明子 氏(更生保護制度、相談援助の基盤と専門職)

高田 俊彦 氏(福祉行財政と福祉計画)

【JC教育研究所Web模試問題作成】

●2022年度JC国家試験受験対策

・2022年8月 模擬試験問題 19科目・150問納品

・2023年2月 国家試験解答分析(速報コメント作成)

・2023年3月 国家試験解答解説 19科目・150問納品

※担当講師科目担当は、ほとんどが和洋女子大学の講師であるが、

「高齢者に対する支援と介護保険制度」については、豊下 智大氏が担当し、

「低所得者に対する支援と生活保護制度」については、安藤 宏之氏が担当している。

## ⑤ 養成・教育機関との連携事業

### ●淑徳大学への講師派遣

・科目名：卒後教育と人間開発Ⅰ（前期/後期）

・開催場所：淑徳大学

・連携団体：千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、  
千葉県弁護士会 社会福祉委員会

#### 1)概要

社会福祉実践教育（専門）の「総仕上げ」として位置づけ、現場実習を終え、就職活動と社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を控えた学生を対象とし、就職先で求められる即戦力（柔軟な思考力や行動力）を養うことを目的とされた授業に、講師として本会より会員を派遣。各福祉職専門団体、実践現場、マスコミや千葉県弁護士会社会福祉委員会有志弁護士等と講義及び演習を実施する。

#### 2)授業内容及び形態

前期は担当教員の作成した教材により実施。後期は、ZOOM等を使用し、演習を取り入れ、アクティブラーニングの手法を用いた授業を実施。

#### テーマ

前期：「ソーシャルワークの実際」を各方面から理解、体験する。

事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践や関連する領域について概説。

後期：「実践とソーシャルワーカー」について考える。

講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。

#### 3)到達目標

ジェネラリストソーシャルワーカーとしての視点、知識、技術、姿勢の醸成。ソーシャルワーク実践力、支援のネットワークづくり形成力、コーディネート力等基礎の醸成。

#### 4)講師

渋谷 茂氏、宮間 恵美子氏、田尻 隆氏、鈴木 将人氏、松本 拓馬氏、平野 香氏、  
神山 裕也氏、田中 悦子氏

## ⑥ 日本社会福祉士会主催委員会及び各種研修への委員派遣について

### ●2022年度 第1回 全国生涯研修委員会会議(ZOOM)

日 時：2022年5月15日(日)13:00～17:00

テーマ：オンライン研修の先事例発表、オンライン研修の課題

出席者：浅見 雅人

### ●2022年度 第2回 全国生涯研修委員会 会議(ZOOM)

2022年9月24日(土)13:00～17:10

2022年9月25日(日)9:00～13:25

出席者：浅見 雅人、白井 和正

テーマ：オンライン研修の事例発表



●2022年度基礎研修講師養成研修

日 時:2023年2月11日(土)、2023年2月12日(日)開催(ZOOM)

日本社会福祉士会主催 令和3年度基礎研修講師養成研修 5名推薦

推薦者:竹村 葉子、白井 正和、堀江 亜希子、小野寺 浩、浅見 雅人

●地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修

日 時:2023 年 3 月 12 日(日)10:00~17:15

日本社会福祉士会主催

推薦者:福間 勝可、石橋 大輔、塩原 貴子、白井 正和

●新スーパーバイザー養成研修

日本社会福祉士会主催 新スーパーバイザー養成研修 1名推薦

推薦者:宮下 朱実

⑦ スーパービジョンの支援

スーパービジョンについては、各県士会でスーパーバイザーを把握し、スーパービジョン希望者とのマッチング、スーパーバイザーの養成が求められているが、当会は整備が進んでいない状況である。今後は、スーパーバイザー養成研修修了者を対象にスーパービジョンのマッチングを積極的に進めていき、認定社会福祉士機構の名簿をもとに、当会独自のスーパーバイザー名簿作成に尽力する。

(4)権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2022 年度は、第二期成年後見制度利用促進計画(2022 年から 2027 年)初年度である。この計画では、地域共生社会の実現を目指し、権利擁護支援のなかでの成年後見制度の重要性が明確化された。

ぱあとなあ千葉は、より一層に地域社会に必要とされる専門職団体としての使命、そして責任がある。日々、関係機関との連携を図り、地域連携ネットワークを構築していくことが求められている。研修テーマとしては、「意思決定支援」「チームケア」の 2 本柱があり、必須登録員研修でも学びを深めた。

また、後見事務においては、日本社会福祉士会が開発された、活動報告書システムを 2022 年度の定期報告から導入した。ぱあとなあとしては、紙媒体での管理からシステムを使用した大きな変革期となった。導入業務にあたった運営委員、協力員のメンバーの方々には、改めて感謝である。

今後は、更なるICT化の中で、事務局や運営委員の業務負担軽減、登録員の後見事務の効率化になるよう、体制整備をしていく。登録員全員が活動報告システムを使用し、後見事務がスムーズにすすめられることを目標とする。

2023年 1 月の理事会においては、報酬助成に関する規程を改正した。家裁からの後見人等の依頼数と登録員の増加に伴い、受任会費の納付金額の上限廃止、また、受任会費の用途拡大(報酬助成の事務に限らず、登録員の全体活動に支出ができる)をした。

登録員全体の高齢化(65 歳以上は、4 割を超える)、また、関係機関からの問い合わせや苦情も増え、助言・指導、また、辞任、選任の手続きが必要な登録員も増加している。日々、運営委員で対応している。2023 年 4 月からは、ぱあとなあ担当の事務員を週 5 日で配置とした。

## I 2022 年度の事業概況

登録員は、324 名、家裁からの後見人等推薦依頼件数は、468 件あり、昨年より約 50 件減少したが、総受任件数は、1922 件となり、85 件増加している。運営委員会及び県社士会事務局の業務量（コーディネート、研修、業務管理業務及び付随する事務作業等）は、年間を通じて逼迫している状況がある。

年 度	登 録 員	家裁からの推薦依頼件数	総受任件数
2016	225	201	937
2019	263	426	1402
2020	302	416	1574
2021	320	522	1837
2022	324	468	1922

### 1. 運営委員会事業

#### 第1回 運営委員会

開催日 2022 年 4 月 27 日(木)16:30～18:30 【ZOOM開催】

出席者 浅見・石橋・今川・越後谷・朽名・佐野・四ノ宮・古澤・吉田・倉下(書記)

- 内 容
- ・活動報告書提出確認(1772 件)
  - ・報酬助成審査会の開催予定
  - ・神奈川県社会福祉士会の視察報告
  - ・電話相談について
  - ・2022 年度事業計画の承認
  - ・次期の運営委員の選出について

#### 第 2 回 運営委員会

開催日 2022 年 6 月 16 日(木)16:30～18:30 【ZOOM開催】

出席者 浅見・石橋・越後谷・太田・小川・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・古澤・武藤・吉田・今川(書記)

- 内 容
- ・報酬助成審査会
  - ・運営委員、協力員の増員について
  - ・必須登録員研修準備
  - ・ICTなりすましメールの注意喚起
  - ・ぱあとなあニュースの発行 7 月号

#### 第 3 回 運営委員会

開催日 2022 年 7 月 28 日(木)16:30～18:30 【ZOOM開催】

出席者 石橋・太田・岡元・倉下・四ノ宮・古澤・吉田・飯田・木岡・堀越・長尾・小川・今川・越後谷(記録)

- 内 容
- ・運営委員長、副委員長、各担当
  - ・新任運営委員 2 名承認 15 名
  - ・総会報告 2021 年度の事業報告の訂正
  - ・研修、コーディネート、業務管理
  - ・法人後見、報酬助成審査会、未成年後見

- ・ささえあい制度 負担金配分
- ・総会資料の訂正について

#### 第4回 運営委員会

開催日 2022年8月25日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 飯田・石橋・岡元・木岡・四ノ宮・長尾・古澤・吉田・浅見・太田(記録)

- 内 容
- ・新事務局員の採用
  - ・運営委員2名推薦
  - ・研修準備、運営
  - ・登録員のしおりの改定について

#### 第5回 運営委員会

開催日 2022年10月27日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 浅見・安藤・飯田・石橋・越後谷・太田・小川知・木岡・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・古澤・堀越・岡元(記録)

- 内 容
- ・新規運営委員2名の承認 17名
  - ・三士会の家裁への要望書
  - ・2023年度の事業計画と予算
  - ・日本会の活動報告システム
  - ・報酬助成審査会 2022年5月~10月20日まで申請6件
  - ・法人後見の報告
  - ・成年後見利用促進地区別意見交換会
  - ・受任会費の使途拡大及び納付額の上限廃止について

#### 第6回 運営委員会

開催日 2022年12月8日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 浅見・安藤・飯田・石橋・太田・大浦・岡元・小川知・木岡・倉下・四ノ宮・長尾・古澤・堀越・吉田

- 内 容
- ・三士会の家裁への要望書
  - ・2023年度の事業計画と予算
  - ・活動報告書システム導入 説明会の実施
  - ・報酬助成審査会
  - ・コーディネート 辞退案件、登録員辞任、死亡案件、受任上限30件について
  - ・未成年後見 事例検討会
  - ・受任会費の使途拡大及び納付金額上限廃止について

#### 第7回 運営委員会

開催日 2023年1月12日(木)

出席者 浅見・飯田・石橋・越後谷・太田・大浦・岡元・木岡・朽名・倉下・助川・長友・古澤・堀越・吉田・小川知(記録)

内 容 ・活動報告システムの導入、説明会 1/19、21、23、25

- ・コーディネート 依頼件数、電話相談
- ・業務管理部会 苦情、辞任の相談
- ・ぱあとなあニュース発行(HPに掲載)
- ・名簿登録研修
- ・各自治体の中核機関の状況、利用支援事業について
- ・神奈川県社会福祉士会ぱあとなあ視察について

## 第8回 運営委員会

開催日 2023年3月2日(木) 16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 安藤・飯田・石橋・越後谷・太田・小川知・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・堀越・吉田・中山・助川・長友・古澤・木岡(記録)

内 容 ・受任会費の使途拡大、納付金額の情願廃止 理事会で承認

- ・新規運営委員1名 理事会へ提出
- ・関東ブロック連絡協議会の報告
- ・各委員や講師派遣について
- ・家裁との協議
- ・活動報告システムについて
- ・登録員の苦情について
- ・コーディネーターの負担について
- ・全体会
- ・ICT化について

## 2. 研修事業

・「必須登録員研修」登録員は必須の研修、年1回以上の研修参加が名簿登録の要件

→実施2回(ZOOM開催) 延 325 名

1回目 2022年7月30日 住田 敦子氏 184 名

「今後の社会福祉士後見人に期待される役割」～権利擁護支援チームと地域連携ネットワーク～

2回目 2023年1月28日 星野 美子氏 141 名

「ぱあとなあ名簿登録会員に期待される役割」～第二期成年後見制度利用促進計画を受けて～

※65名が不参加 ⇒事情があって不参加だった方には、救済措置でレポート提出。

また、2023年度からは、欠席は原則認めず、やむを得ない場合は、理由を添える。

・「千葉サポート研修」→受任3年未満の方が対象、年間2回以上の研修参加が名簿登録の要件

実施6回(ZOOM開催) 延 269 名 平均約 45 名

第1回 5月14日 初回報告 石橋 大輔氏 28 名

第2回 6月25日 居住用不動産 司法書士 岩佐 博行氏 54 名

第3回 8月27日 死後事務 櫻井 勉氏 53 名

第4回 10月29日 身上保護 浅見 雅人氏 40 名

第5回 11月26日 生活保護 佐藤 むつみ氏 49 名

第6回 2月25日 関係機関、家裁とのかかわり 吉武 美樹氏、古澤 肇氏 45 名

・「レベルアップ研修」→実施2回(ZOOM 開催)

第1回 10月22日 善管注意義務について 岩佐 博行氏 40名

第2回 12月03日 負債について 土井 義昭氏 45名

・「人材育成研修」→開催(対面、ZOOM 開催) 38名(茨城県 5名)

・「名簿登録研修」→開催(対面開催) 30名

・「弁護士との事例検討会」(ZOOM 開催)

第1回 11月19日 33名 第2回 2月18日 35名 両回とも 弁護士 佐久間 貴幸氏

・「支援者のための成年後見制度活用講座」(ZOOM 開催) →9月24日・25日 37名

※2023年度、今後もオンライン研修を主体とする。

### 3. 業務管理(活動報告書の読込、受任者(指名個別)面談)事業【詳細は部会報告】

昨年度の読込作業件数は約1,800件、受任者面談は、13名(定期報告9件、臨時4件)の実施。

2022年12月からは、活動報告システムを導入しました。約29名が紙提出。

### 4. コーディネート事業【詳細は部会報告】

会議・作業は、前年度に続き、WEB 会議とクラウドシステムを活用した形で実施。家裁からの後見人等推薦依頼件数は、前年度より約50件減り、約470件。また、家裁にお断りしたケースも約20件。受任できる体制整備、また、フォロー、相談体制の整備も課題。

電話相談は、前年度に続き週2日、事務局での受付(メールでも可)、相談員の自宅(事務所)での対応。相談件数は約146件(前年度約160件)、半数以上は登録員からの相談。

### 5. 報酬助成制度事業【詳細は部会報告】

ばあとなあ千葉独自の報酬助成制度の運用です。報酬助成の原資となる受任会費の2022年度の納付総額は、2,340,000円。2022年12月末までの報酬助成申請件数は12件で、6件が助成可、2件が保留、2件が取下げ、2件が助成不可。助成総額は、742,500円。

### 6. 渉外・ソーシャルアクション

・家裁との意見交換会を、2023年3月に実施。

・三士会として報酬についての要望書を千葉家裁に提出。

・成年後見制度利用支援事業拡充に向けた自治体への要望の中では、流山市、松戸市、八千代市、千葉市などは、改正。自治体等から中核機関関連の委員派遣の要請も増えており、今後、情報交換も含め、健全な成年後見制度利用促進に向けた組織的な対応を考えていくことが課題。

### 7. 登録員に対する苦情対応

登録員の後見活動に関する注意喚起・改善勧告、関係者からの相談・苦情等も増加。

不当な苦情等に対しては、登録員の擁護に努めたが、不適切な後見活動、例えば、被後見等を支える他の専門職、関係者との連携、意思疎通の不十分さ、後見人と連絡が取りづらい等が確認された場合には、当該登録員の活動改善のための個別面談、指導・助言を実施。

本人、家族、関係機関との連絡調整、チームケアの中で、課題や問題があった際には、早めに、ばあとなあに、連絡、ご相談するように依頼。

登録員の高齢化や病気等による辞任の相談は、必ず事前にばあとなあへ相談を依頼。

## 8. その他

○未成年後見の受任中の案件は、5 件(昨年 6 件)。(活動報告システムは、未対応)

○法人後見の受任中の案件は1件。2023 年度法人後見を辞任して個人後見等へ移行していく予定。

○リスクマネジメント部会及び独立型社会福祉士部会は、活動休止。

○支部作りの準備

登録員数、コーディネート件数の増大への対応として、ばあとなあ千葉の諸事業(コーディネート、研修、相談・支援・苦情処理)を担っていける体制(裁判所毎の地域別の支部)づくりをできる地域から進めていく。

○全体会 2023 年 3 月 11 日 45 名参加 ※活動報告書システム、支部づくりについて

## コーディネート部会の報告(2022年度)

2022 年度(2022 年4月～2023 年3月末)における家庭裁判所からの後見人等の推薦依頼件数は468 件で、前年度の 522 件から約 50 件減少しました。しかし、受任候補者を推薦出来ず、辞退した案件は 19 件で、前年度の 17 件を上回る。結果として、2022 年度は、辞退案件と申立取下等のキャンセル案件 8 件を除いた、441 件を登録員が新たに受任。

また、電話相談対応は、146 件(一般 59 件、登録員 87 件)(前年度 161 件)。

コロナ禍以降、コーディネート作業は、クラウドシステムを活用し、9 人の担当者がそれぞれの担当地区(家裁支部)の依頼案件に応じて、推薦候補者を選定し、順次候補者へ電話での案件説明、受任打診等を実施。コーディネーターの負担も大きく、原則として、任期は 1 年。

ICT 化を更に進める準備中であるが、今後、より多くの登録員にコーディネーターの担当が不可欠。

表1 家裁支部別依頼件数(2022 年 4 月～2023 年 3 月末)

全体	市川	松戸	本庁	佐倉	木更津	佐原	一宮	八日市場	館山
468 (522)	116 (129)	111 (136)	111 (123)	66 (53)	26 (26)	16 (16)	14 (18)	4 (6)	4 (10)

※ 辞退 19 件、キャンセル8件。( )内は 2021 年度。

表2 依頼案件の類型(2022 年 4 月～2023 年 3 月末)

全体	後見	保佐	補助	(未成年)
468 (522)	311[66%] (352[66%])	112[24%] (123[24%])	44[9%] (46[9%])	1 1

※ ( )内は 2021 年度。

## 業務管理部会からのお知らせ

### 【活動報告書について】

2022 年度の活動報告書総数は、1922 件(昨年比+約 100 件)で、2023 年 3 月～4 月にかけて読込を実施。

今後の活動報告システム入力提出にあたっての留意点

●随時報告(初回報告・終了報告)の提出時期・内容について

・2023 年 1 月 31 日までに提出が必要な随時報告(初回報告・終了報告)は、活動報告システムにて受理できない。

・2023 年 2 月 1 日以降に提出が必要な随時報告(初回報告・終了報告)は、活動報告システム 随時報告にて入力提出。

【受任者面談の実施】

2022 年 9 月に、定期の活動報告にて面談希望、新規受任又多数受任登録員を対象に個別面談を ZOOMにて 9 件実施。相談内容の概要として、死後事務、辞任、関係機関との連携、30 件以上の受任、通帳管理、居住用不動産処分について。

また、臨時面談としては、関係機関からの問い合わせや苦情、登録員の病気について4件対応。

## 報酬助成の報告

2023 年 1 月の理事会において、この規程の改正が承認された。受任案件数に応じた納付額の上限(1 件につき 2 千円、上限 15 件 3 万円)を廃止。来年からは、15 件以上(新規、低報酬案件除く)の受任の方の納付額の上限は廃止。仮に 20 件とすると、受任会費は、4 万円。また、この報酬助成の用途の拡大も承認された。報酬助成、それに伴う事務費以外で、ぱあとなあの活動(コーディネートや業務管理等)でも支出ができるよう用途を拡大とした。

各市町村の成年後見制度利用支援事業(後見報酬助成制度)は、ソーシャルアクションもあり、少しずつ見直しがされてきている。

(活動状況)

[審査会実績及び申請件数]

・2022 年度第1回報酬助成審査会 2022 年 6 月 14 日

6 件申請(内 3 件は、2022 年 1 月から 3 月の申請) 3 件適 1 件保留 1 件取り下げ 1 件却下

・2022 年度第2回報酬助成審査会 2022 年 10 月 27 日

6 件申請 3 件適 1 件保留 1 件取り下げ 1 件却下

[助成額 上記審査会期間分]

・助成金額は、6 件 742,500 円

2022 年 8 月 19 日入金 3 件 ①150,000 円 ②102,500 円 ③50,000 円

2023 年 1 月 06 日入金 3 件 ①150,000 円 ②140,000 円 ③150,000 円

※2023 年度は、4月、9 月、1 月と年間 3 回設定し、早期の支給に努める。

※※2023 年 1 月から 3 月に申請の 6 件は、2023 年4月審査会対象。

※新メールアドレスについて

千葉県社会福祉士会では、新たにメールアドレスを取得。研修の案内などで使用。

受信できるように設定のお願い。新メールアドレス [info@cschwchiba2.sakura.ne.jp](mailto:info@cschwchiba2.sakura.ne.jp)

## (5) 司法福祉委員会

2022 年度も日本社会福祉士会認定機構の認定研修、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修(基礎編・応用編)を実施した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。この講座を修了すると司法福祉委員会のメーグリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が千葉県弁護士(主に国選弁護人)からの依頼を受け、司法福祉委員会の刑事司法ソーシャルワーカー登録委員の中からマッチング支援で受任する。2022 年度の依頼件数は 3 件だった。受任した司法福祉委員は弁護士と協同し被疑者(障害者・高齢者)の入口支援に関わり支援している。この事業を充実させるために、学習会を設け受任者の実践等を振り返り研鑽を積んでいる。

### ① 運営委員会の開催

#### 第 1 回司法福祉委員会

開催日:2022 年 6 月 18 日(土)10:00~12:00

開催場所:Zoom にて開催

参加者:9 名(宮下、伊藤、青沼、大浦、多田、松丸、足立、宮崎、小川)

内容:2022 年度のスタートにあたり各担当より計画と意見

#### 第 2 回司法福祉委員会

開催日:2022 年 9 月 17 日(土)10:00~12:00

開催場所:Zoom にて

参加者:8 名(宮下、青沼、大浦、吉田、多田、足立、野村、小川)

内容:認定研修・基礎編の反省と学習会委員から報告

マッチング支援:1 件

その他「10 年後の社会福祉士会の在り方について」

#### 第 3 回司法福祉委員会

開催日:2022 年 12 月 17 日(土)10:00~12:00

開催場所:Zoom にて

参加者:6 名(宮下、伊藤、多田、松丸、宮崎、小川)

内容:日本社会福祉士会認定研修・応用編の開催手順等について  
学習会担当、マッチング担当より報告

### ② 研修

日本社会福祉士会認定研修開催

開催場所:千葉県弁護士会館&ZOOM によるハイブリッド研修

基礎編:2022 年 7 月 23 日、24 日

受講者:43 名

応用編:2023 年 1 月 21 日、22 日

受講者:27 名

### ③ マッチング支援

2022 年度の受任件数は 3 件

### ④ 学習会

#### 第 1 回学習会

開催日:2022 年 9 月 10 日(土)(13:00~14:30)

開催場所:Zoom にて

参加者:10 名

内容:福祉職が刑事裁判の証人になる場合の留意点

講師:土屋弁護士



第 2 回学習会  
開催日:2023 年 3 月 18 日  
開催場所:Zoom にて  
参加者:8 名  
内容;山本 美穂氏、受任案件発表

## (6) 災害対策委員会

○2022年度災害対策委員会執行体制(理事改選に伴う委員長等の異動)

	2022年度	2021年度
委員長	服部 明	安藤 宏之
副委員長	伊藤 佳世子	服部 明

○災害対策委員会の開催

- ・第 1 回:2022年 8 月 21 日(日)午前 10 時~12 時 参加者 6 名
- ・第 2 回:2022年 11 月 5 日(日)午前 10 時~12 時 参加者 5 名

○災害発生時の被災地支援活動

2022年度において、大会として行った被災地支援活動はなかった。

○被災地支援活動協力員名簿の登録者数

2023年 3 月 31 日の時点で 126 名。(直近の登録者一斉更新:令和 3 年 5 月)

○第 43 回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

日時 : 2022年 10 月 23 日(日)午前 10 時 30 分~午後 2 時 00 分

出席者 : 服部災害対策委員長、伊藤災害対策副委員長

場所 : 大網白里アリーナ武道館(大網白里市上貝塚 160)

参 加 : 災害ボランティアセンター運営訓練に市民ボランティア役として参加

その他 : 同日、訓練の一環として同市立増穂北小学校で行われた避難所設置運営訓練において当会所属(法人推薦)DWAT 登録員を含む千葉県 DWAT が訓練に参加。

○災害支援研修会の開催(オンライン開催)

日時 : 2023年 1 月 14 日(日)午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

講義等 : ①富津市障害者基幹相談支援センター 大森 匠氏

「私の被災地受け入れ体験談」

②災害対策委員長 服部明

「千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドラインを中心とした説明」

③意見交換

参加者 : 32 人(申込者 当会員:18 他県社会福祉士会員:4 他団体等:10)

○神奈川県社会福祉士会『2022 年度災害支援活動者養成研修』における活動報告

日時 : 2023年 2 月 5 日(日)午後 1 時~3 時

報告者 : 服部災害対策委員長

内容 : 2019 年台風 15 号による災害に際して他県社会福祉士会から支援を受けた経験

※ 報告に使用した資料は事務局で保管

○日本社会福祉士会 都道府県社会福祉士会災害担当学会議

日 時 : 2023年 3 月 12 日(日)午前 10 時~12 時

出席者 : 服部災害対策委員長

内容 ・「これまでの日本社会福祉士会の取り組み」と災害支援に係る法制度について  
・県士会からの報告(静岡県社会福祉士会、岩手県社会福祉士会)、意見交換

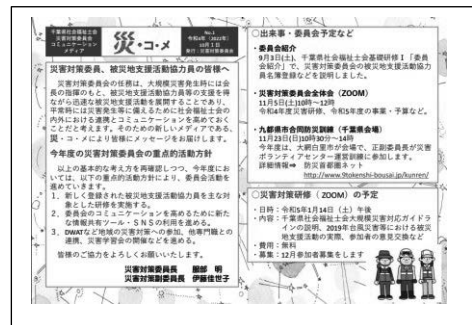
#### ○新規事業 コミュニケーションメディア『災・コ・メ』の創刊

目的：災害対策委員会と被災地支援活動協力員の間のコミュニケーションを強化する

媒体：A4 サイズ 2 枚の PDF ファイル

配布：被災地支援活動協力員メーリングリストにてメール添付送信

実績：3 回発行(10 月 1 日、12 月 1 日、2 月 1 日)



#### ○千葉県災害復興支援士業ネットワーク 意見交換会(オンライン)

日時：第 1 回 2022 年 6 月 2 日(木)午後 5 時 30 分～7 時 30 分

第 2 回 2023 年 3 月 23 日(木) 午後 5 時 30 分～7 時 30 分

出席者：服部災害対策委員長

内容：千葉県との災害時の支援協定締結、所属団体のリスト作成など

#### ○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 定例会

日時：① 第 1 回 2022 年 7 月 12 日(火)午後 2 時～4 時 服部委員長出席

② 第 3 回 2023 年 3 月 8 日(火) 午後 2 時～4 時 伊藤副委員長出席

内容：九都県市合同防災訓練実施、活動実施計画・活動実施報告の承認など

#### ○千葉県 DWAT シミュレーション訓練

日時：2022 年 8 月 2 日(火)・3 日(水) \*時間は不連続

参加者：DWAT 登録員、災害対策正副委員長、事務局職員

内容：大規模災害発生を想定したメールによる安否確認、派遣応諾の可否など

#### ○内閣府 災害支援促進研修

日時：2023 年 1 月 16 日(月)午後 1 時～午後 4 時 30 分

出席者：服部災害対策委員長

場所：千葉県庁大会議室

内容：当会、千葉県、千葉県社会福祉協議会など関係団体間の連携強化、意見交換

#### ○災害ボランティアセンター立上げ図上訓練(オンライン)

日時：2023 年 1 月 27 日(金)午後 2 時～午後 4 時

出席者：服部災害対策委員長

内容：災害発生を想定した災害ボランティアセンター立上げ訓練、連絡体制の確認など

#### (7) 倫理委員会

2022 年 12 月 13 日(火)19:00～20:00 定例会議を行った。

2022 年度は苦情申立なし

#### (8) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

常勤の居宅移行支援員 1 名と非常勤の居宅移行支援員 1 名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者等に対しても新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、引き続き相談などに難しさがある中、積極的に支援を進めてきた。

業務の内容は、事業課である生活支援課や市内外の無料低宿泊所との連携により、

19 名が居宅への移行(転居)を完了した。(内訳はアパート 12 名、介護施設 4 名、養護老人ホーム 2 名、障がいグループホーム 1 名)支援対象者 54 名、支援終了者 22 名(転居や施設入所し継続支援をした後は、課題終了とし支援終了)となった。

2022 年度は介護施設や養護老人ホームへの移行が例年に比べると多かった。介護施設への入所者の 4 名のうち 3 名は入院となり、無料低額宿泊所へ戻ることなく病院から介護施設へ移行。そうすると退院まで限られた期間で入所施設を速やかに探さないといけない為、病院や介護施設との緊密な連携や理解が重要となる。64 歳以下の健康な支援対象者は、就労の義務が課せられるが生活保護が廃止になる程の収入の見込みがないと転居条件を満たさないため(松戸市ルール) 以前より就労しても転居出来ることが難しくなり、結果的に無料低額宿泊所に留まってしまう。

委託期間:自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日 委託金額:12,366,660 円

2022年度当期一般正味財産増減額（収支計算書）

2022年4月1日～2023年3月31日

（単位：円）

科目			R4予算収入 (補正後)	R4予算支出 (補正後)	R4 決算額収入	R4 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入- 決算収入	予算支出- 決算支出	備考
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
1	会費		26,748,500	8,363,940	26,962,500	8,428,940	18,533,560	△ 214,000	△ 65,000	
	1	会費	23,450,500	7,805,000	23,655,500	7,870,000	15,785,500	△ 205,000	△ 65,000	
	1	正会員	23,432,500	7,805,000	23,637,500	7,870,000	15,767,500	△ 205,000	△ 65,000	1,582名（2023年3月31日現在、新入 会85名・内、キャンペーン11名）、 連合体会費1,574名×5,000円
	2	準会員	6,000	0	6,000	0	6,000	0	0	2,000円×3名
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	0	12,000	0	0	10,000円×1社、2,000円× 1名
	4	負担金	0	0	0	0	0	0	0	
	5	入会金	0	0	0	0	0	0	0	正会員会費に繰り入れ
	2	ばあとなあ登録料	3,298,000	558,940	3,307,000	558,940	2,748,060	△ 9,000	0	
	1	ばあとなあ名簿登録料	3,225,000	558,940	3,235,000	558,940	2,676,060	△ 10,000	0	名簿登録員ほか301名
	2	ばあとなあ準会員登録料	73,000	0	72,000	0	72,000	1,000	0	延べ72名×1,000
2	事業費		29,344,393	24,515,095	30,253,544	24,770,518	5,483,026	△ 909,151	△ 255,423	
	1	総務事業	115,000	1,102,000	105,000	1,089,932	△ 984,932	10,000	12,068	
	1	企画部会運営費	0	10,000	0	44,800	△ 44,800	0	△ 34,800	
	2	SW3団体及びその他職能団 体との協働事業費	0	10,000	0	0	0	0	10,000	
	3	福祉職地域交流促進事業費	0	100,000	0	113,350	△ 113,350	0	△ 13,350	地域集会講師料補助、会場費補助
	6	広報誌作成費	115,000	900,000	105,000	851,079	△ 746,079	10,000	48,921	広報誌年3回発行、広報誌同封チラシ 収入
	8	広報部会運営費	0	74,000	0	74,750	△ 74,750	0	△ 750	
	9	WEB維持管理費	0	8,000	0	5,953	△ 5,953	0	2,047	ホームページの維持経費
	2	総合相談事業	1,404,000	538,000	1,460,080	499,945	960,135	△ 56,080	38,055	
	1	総合相談委員会運営費	0	0	0	50,550	△ 50,550	0	△ 50,550	
	2	高齢者虐待防止対策研修会 （県事業）	1,364,000	500,000	1,421,750	396,310	1,025,440	△ 57,750	103,690	千葉県委託事業
	3	高齢者虐待対応専門職チー ム	40,000	38,000	38,330	53,085	△ 14,755	1,670	△ 15,085	千葉県委託事業
	6	千葉県高齢者虐待対応マ ニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0	0	
	7	総合相談業務を担う社会 福祉士の集い	0	0	0	0	0	0	0	
	3	研修事業	7,707,900	4,187,931	7,967,900	4,315,073	3,652,827	△ 260,000	△ 127,142	
	1	研修委員会運営費	0	97,500	0	112,550	△ 112,550	0	△ 15,050	
	2	県民公開講座（研究大会・ 総会）	0	0	0	0	0	0	0	
	3	基礎研修Ⅰ	639,000	474,200	639,000	480,730	158,270	0	△ 6,530	2022年度研修受講者58名
	4	基礎研修Ⅱ	2,535,000	795,891	2,535,000	867,129	1,667,871	0	△ 71,238	2022年度研修受講者48名
	5	基礎研修Ⅲ	1,736,000	968,895	1,736,000	898,448	837,552	0	70,447	2022年度研修受講者33名
	6	ジェイシー教育研究所web 模試 問題作成	1,450,900	1,123,684	1,450,900	1,060,674	390,226	0	63,010	
	7	社会福祉士取得支援講座 （和洋女子大学）	700,000	330,779	700,000	331,796	368,204	0	△ 1,017	
	8	実習指導者講習会	427,000	261,178	427,000	261,178	165,822	0	0	2022年度受講者37名
	10	淑徳大学講師派遣	220,000	135,804	480,000	302,568	177,432	△ 260,000	△ 166,764	
	12	社会福祉士ワンストップ研修 （基礎研修終了者）	0	0	0	0	0	0	0	
	14	グループワーク研修	0	0	0	0	0	0	0	
	16	先輩SWへの学び研修	0	0	0	0	0	0	0	
	4	ばあとなあ千葉運営事業	5,650,000	5,755,344	5,705,305	6,042,430	△ 337,125	△ 55,305	△ 287,086	
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	500,000	0	608,989	△ 608,989	0	△ 108,989	
	3	相談事業	0	450,000	0	365,457	△ 365,457	0	84,543	電話相談、訪問相談
	4	成年後見制度活用講座	330,000	90,000	321,000	183,366	137,634	9,000	△ 93,366	
	5	成年後見人育成研修（委 託研修）	1,900,000	750,000	1,900,805	778,258	1,122,547	△ 805	△ 28,258	
	6	法人後見事業	216,000	272,000	247,000	254,818	△ 7,818	△ 31,000	17,182	法人後見1件
	7	活動報告書読み込み作業	0	812,000	0	1,020,836	△ 1,020,836	0	△ 208,836	
	9	渉外・ソーシャルアクショ ン	0	60,000	0	46,188	△ 46,188	0	13,812	リーフレット、家裁、他団体、市町 村へ
	10	受任者面接	0	40,000	0	0	0	0	40,000	
	11	ばあとなあ千葉ニュース	0	160,000	0	176,066	△ 176,066	0	△ 16,066	年4回発行
	12	コーディネート会議	0	985,000	0	909,214	△ 909,214	0	75,786	
	13	名簿登録研修	160,000	185,000	160,000	182,622	△ 22,622	0	2,378	2022年度受講者37名
	14	必須登録員研修	270,000	200,000	324,000	166,034	157,966	△ 54,000	33,966	2022年度受講者のべ324名
	15	千葉サポート	270,000	120,000	253,500	116,869	136,631	16,500	3,131	2022年度受講者 のべ253名
	16	レベルアップ研修	90,000	90,000	85,000	86,502	△ 1,502	5,000	3,498	2022年度受講者 のべ85名
	17	家裁事務報告書指導	0	0	0	0	0	0	0	
	18	テーマ別弁護士との事例検 討会	70,000	90,000	68,000	92,318	△ 24,318	2,000	△ 2,318	2022年度受講者のべ34名

科目			R4予算収入 (補正後)	R4予算支出 (補正後)	R4 決算額収入	R4 決算額支出	収入-支出 (決算)	予算収入－ 決算収入	予算支出－ 決算支出	備考
大項目	中項目	小項目	(収入)	(支出)	(収入)	(支出)		(収入)	(支出)	
	20	関東甲信越ブロック連絡会	0	0	0	0	0	0	0	
	21	ばあとなあ千葉全体会	0	25,000	0	0	0	0	25,000	
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0	0	
	24	未成年後見	0	25,000	0	19,740	△ 19,740	0	5,260	
	25	研修部会運営	0	0	0	0	0	0	0	
	26	報酬助成事業(受任会費含む)	2,344,000	781,344	2,346,000	796,729	1,549,271	△ 2,000	△ 15,385	報酬助成6件
	27	支部設立準備事業	0	0	0	0	0	0	0	
	28	ICT推進	0	120,000	0	238,424	△ 238,424	0	△ 118,424	
5	司法福祉		1,219,833	511,185	1,219,833	572,859	646,974	0	△ 61,674	
	1	司法福祉委員会運営費	1,833	2,182	1,833	59,535	△ 57,702	0	△ 57,353	
	2	司法福祉学習会	10,000	20,418	10,000	28,387	△ 18,387	0	△ 7,969	
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	799,800	287,065	799,800	287,659	512,141	0	△ 594	2022年度受講者 45名
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	408,200	199,120	408,200	197,278	210,922	0	1,842	2022年度受講者 27名
	5	マッチング支援	0	2,400	0	0	0	0	2,400	
6	災害対策		0	72,004	0	82,856	△ 82,856	0	△ 10,852	
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	61,004	0	62,209	△ 62,209	0	△ 1,205	災害対策他団体会議、交通費等
	2	災害対策研修	0	11,000	0	20,647	△ 20,647	0	△ 9,647	
7	その他		13,247,660	12,348,631	13,795,426	12,167,423	1,628,003	△ 547,766	181,208	
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	300,000	0	22,075	△ 22,075	0	277,925	
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	0	0	0	0	0	0	
	3	選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0	0	
	4	法人後見監査業務委員会	0	0	0	0	0	0	0	
	5	居住確保支援事業	12,366,660	11,182,631	12,366,660	11,252,119	1,114,541	0	△ 69,488	
	7	社会福祉士会活性化事業	820,000	600,000	1,196,766	715,694	481,072	△ 376,766	△ 115,694	孤独孤立相談ダイヤル
	8	講師派遣事業	61,000	41,000	232,000	177,535	54,465	△ 171,000	△ 136,535	講師派遣
	9	ICT推進委員会	0	225,000	0	0	0	0	225,000	
3	事務費		0	19,463,287	0	19,102,573	△ 19,102,573	0	360,714	
	1	消耗品費	0	430,886	0	380,985	△ 380,985	0	49,901	会員管理用事務消耗品代
	2	印刷製本費	0	809,781	0	652,798	△ 652,798	0	156,983	総会資料、封筒、コピー機カウンター
	3	通信運搬費	0	1,000,000	0	1,177,712	△ 1,177,712	0	△ 177,712	電話使用料、クラウド使用料、切手代郵送料等、
	4	慶弔費	0	10,000	0	10,000	△ 10,000	0	0	
	5	賃金等	0	11,468,310	0	11,495,937	△ 11,495,937	0	△ 27,627	常勤3名→2名、パートのべ5名(通勤費含)
	6	法定福利費	0	1,640,438	0	1,304,894	△ 1,304,894	0	335,544	賃金等より(社保・労働保険料)
	7	水道光熱費	0	132,000	0	143,000	△ 143,000	0	△ 11,000	
	8	賃借料	0	1,640,890	0	1,649,727	△ 1,649,727	0	△ 8,837	事務局賃料、コピー機等リース(保守料含む)、PCリース
	9	委託料	0	904,445	0	891,845	△ 891,845	0	12,600	税理士、新入会セット(日本会)1,000円×84名
	10	役員報酬	0	919,800	0	914,600	△ 914,600	0	5,200	理事会、総会、三役会、外部会議出席
	11	役員旅費	0	187,022	0	217,562	△ 217,562	0	△ 30,540	
	12	役員選挙事務費	0	0	0	0	0	0	0	
	13	保険料	0	40,000	0	40,000	△ 40,000	0	0	
	14	会議費	0	0	0	0	0	0	0	
	15	諸会費	0	22,750	0	22,750	△ 22,750	0	0	
	16	雑費	0	256,965	0	200,763	△ 200,763	0	56,202	
4	受取補助金等		0	0	36,000	0	36,000	△ 36,000	0	
5	寄付金		0	0	0	0	0	0	0	
6	繰越金		0	0	0	0	0	0	0	
7	雑収入		50,120	0	99,658	0	99,658	△ 49,538	0	
8	租税公課		0	683,000	0	608,400	△ 608,400	0	74,600	
9	敷金支出		0	0	0	0	0	0	0	
10	予備費		0	1,000,000	0	766,874	△ 766,874	0	233,126	固定資産(器具備品)、転居費用
11	配分金		0	0	0	0	0	0	0	
合計			56,143,013	54,025,322	57,351,702	53,677,305	3,674,397	△ 1,208,689	348,017	
当期一般正味財産増減額				2,117,691		3,674,397			△ 1,556,706	

# 貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	56,967,259	52,715,766	4,251,493
未収入金	3,924,135	3,833,098	91,037
貯蔵品	32,292	41,654	△ 9,362
前払費用	77,616	93,774	△ 16,158
預け金	142,175	136,675	5,500
仮払金	0	0	0
流動資産合計	61,143,477	56,820,967	4,322,510
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
器具及び備品	101,188	160,125	△ 58,937
敷金	920,700	920,700	0
固定資産合計	1,021,888	1,080,825	△ 58,937
3. 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
資産合計	64,165,365	59,901,792	4,263,573
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,384,428	1,566,024	818,404
預り金	273,479	502,707	△ 229,228
仮受金	0	0	0
流動負債合計	2,657,907	2,068,731	589,176
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,657,907	2,068,731	589,176
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	61,507,458	57,833,061	3,674,397
負債及び正味財産合計	64,165,365	59,901,792	4,263,573

# 正味財産増減計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①会費収入	26,001,500	25,678,000	323,500
②ばあとなあ名簿登録料	3,307,000	3,122,000	185,000
③事業収入	27,907,544	23,382,711	4,524,833
④受取補助金	36,000	1,185,794	△ 1,149,794
⑤寄付金	0	0	0
⑥雑収入	99,658	98,277	1,381
経常収益計	57,351,702	53,466,782	3,884,920
(2) 経常費用			
①会費支出	8,428,940	8,431,205	△ 2,265
②事業費	24,770,518	22,434,778	2,335,740
③管理費	19,869,447	18,900,205	969,242
経常費用計	53,068,905	49,766,188	3,302,717
当期経常増減額	4,282,797	3,700,594	582,203
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①法人税等	608,400	444,000	164,400
②配分金	0	0	0
経常外費用計	608,400	444,000	164,400
当期経常外増減額	△ 608,400	△ 444,000	△ 164,400
当期一般正味財産増減額	3,674,397	3,256,594	417,803
一般正味財産期首残高	55,833,061	52,576,467	3,256,594
一般正味財産期末残高	59,507,458	55,833,061	3,674,397
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	61,507,458	57,833,061	3,674,397

現金預金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3056203	13,677,959	
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3067795	12,252,434	居住確保支援事業
ゆうちょ銀行	普通預金 No. 10520-90294141	8,167,787	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-0-713799	10,859,191	
ゆうちょ銀行	振替口座 No. 00170-6-569895	2,865,636	社会福祉士ささえあい(旧制度用)
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	普通預金 No. 3073671	2,259,715	ばあとなあ受任会費用
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(2)	6,750,042	基本財産を除く
現金		134,495	
合 計		56,967,259	

未収入金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
千 葉 県	1,430,080	高齢者虐待対応研修委託料ほか
松戸市	1,030,555	居住確保支援事業
JC教育研究所	599,500	国試回答解説ほか
山武市社協	132,000	講師料
ばあとなあ千葉名簿登録員	732,000	ばあとなあ2022年度WEB研修受講料 (必須登録員、レベルUP、千葉サポ-ト、事例検討会)各研修
合 計	3,924,135	

貯蔵品明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相 手 先 名	金 額	摘 要
切手代他	32,292	
合 計	32,292	



前払費用明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
サイボウズ	77,616	kinntone2023年度分
合 計	77,616	

預け金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	142,175	高齢者虐待対応研修契約保証金
合 計	142,175	

敷金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
ファーストコーポレーション株式会社	920,700	敷金
合 計	920,700	

基本財産明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

取引金融機関	種 類	金 額	備 考
千 葉 銀 行 千葉市役所出張所	定期預金 No. 3056190(1)	2,000,000	基本財産
合 計		2,000,000	

未払金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職 員	1,574,976	3月分給与ほか
JC教育研究所	360,000	JC速報解答解説
淑徳大学	165,000	講師謝金
ファーストコーポレーション株式会社	272,360	旧事務所原状回復ほか
オフィス家具専門店街	12,092	書棚用棚板
合 計	2,384,428	

預り金明細表  
令和5年3月31日現在

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
職員・講師他	273,479	源泉所得税
合 計	273,479	

雑収入明細表  
自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
受取利息	510	
事務受託費等	99,148	一般社団法人 千葉県医療ソーシャルワーカー協会 一般社団法人 千葉県精神保健福祉士協会ほか
合 計	99,658	

事業収入明細表  
自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

(単位:円)

相手先名	金額	摘要
千葉県	1,460,080	高齢者虐待防止対策研修ほか
淑徳大学	480,000	社会福祉士取得支援
和洋女子大学	700,000	社会福祉士取得支援
ジェイシー教育研究所	1,450,900	社会福祉士養成事業
松 戸 市	12,366,660	居住確保支援事業
合 計	16,457,640	

# 監査報告書

令和5年5月14日

一般社団法人千葉県社会福祉士会  
会 長 樽林 元樹 様

監事 市原 久夫 

監事 岡本 武志 

私ども監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度における監査を行い、次の通り報告する。

## 1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査のため、帳簿、書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討を加え、必要と思われる実査、立会、照合、理事からの報告聴取その他の合理的方法を用いて調査した。監査当日の立会は会長、事務局長、事務局員が行った。
- (2) 会計以外の業務遂行を監査するため、理事会その他の重要会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、決裁書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査した。

## 2. 各会計及び財産の確認

- (1) 一般会計の預金の年度末残高は、千葉銀行、ゆうちょ銀行の預金通帳をもってそれぞれ確認した。
- (2) 諸帳簿及び証拠書類は、適正に保管されていることを確認した。

## 3. 監査意見

- (1) 貸借対照表及び財産目録、収入支出計算書は会計帳簿の記載と合致し法令及び定款ならびに諸規程に従って会の財産及び収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 理事の職務遂行に関する不正の行為または法令、定款及び規約に違反する事実は認められない。

議案第2号

役員の選任について

役員(会員外理事)の辞任にあたり、以下の通り後任役員を選任することについて、総会の承認を求めます。

No.	役職	候補者氏名	備考
1	理事	菅野 道生	会員外理事:新任 (日本ソーシャルワーク教育学校連盟)

<補足説明>

なお役員の任期は2024年 6 月の定時総会終結の時までとなります

議案第3号

倫理委員会委員の選任について

倫理委員会委員を選任することについて、総会の承認を求めます。

NO	氏 名	所属団体
1	佐久間 貴幸	千葉県弁護士会
2	池亀 由紀江	千葉司法書士会
3	松尾 明子	千葉県精神保健福祉士協会
4	新井 尚美	千葉県医療ソーシャルワーカー協会
5	渋谷 茂	千葉県社会福祉士会
6	宮本 哲男	千葉県社会福祉士会
7	常陸谷 政彦	千葉県社会福祉士会

<補足説明>

任期は2025年 6 月の定時総会終結の時までとなります

議案 第4号

2021 年度総会資料 ばあとなあ運営員会報酬助成審査会報告の訂正について

第 10 回定時総会報告(2022 年 6 月 26 日)において、承認された 2021 年度事業報告において、ばあとなあ報酬助成の実績について、誤りがあり、下記のとおり日付、件数、助成額について訂正しました。  
あらためて総会での承認を求めます。

※ 第 10 回定時総会資料 (26 頁)

⑤ 報酬助成審査会

千葉県社会福祉士会会員全員を対象としていた「ささえあい制度」に代わり、今年度からばあとなあ千葉独自の報酬助成制度の運用が開始された。その原資となる今年度分の受任会費（受任件数×2,000 円）が後見人等を受任中の登録員から納付され、その総額は ~~2,340,000~~ 2,230,000 円となった。

○報酬助成の実績

2021 年 9 月～2022 年 3 月までの申請件数は 14 件。報酬助成審査会の審査結果を踏まえて、運営委員会において、10 件の受給可、1 件の受給不可が承認された。3 件の審査は次年度に持ち越しとなり、今年度の助成金総額は、10 件で ~~1,460,000~~ 1,445,929 円である。

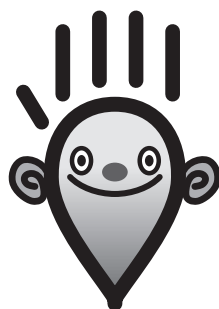
2021 年度第 1 回報酬助成審査結果（審査会 2021 年 10 月 26 日）

NO.	申請日	助成金額	運営委員会承認
1	2021 年 9 月 12 日	200,000 円	2022 年 1 月 13 日
2	2021 年 9 月 30 日	150,000 円	2021 年 10 月 24 日
3	2021 年 10 月 12 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日
4	2021 年 10 月 12 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日
5	2021 年 10 月 12 日	123,429 円	2022 年 1 月 13 日
6	2021 年 10 月 25 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日

2021 年度第 2 回報酬助成審査結果（審査会 2022 年 1 月 7 日）

NO.	申請日	助成金額	運営委員会承認
7	2021 年 12 月 8 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日
8	2021 年 12 月 13 日	却下	2022 年 1 月 13 日
9	2021 年 12 月 13 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日
10	2021 年 12 月 15 日	150,000 円	2022 年 1 月 13 日
11	2021 年 12 月 21 日	72,500 円	2022 年 1 月 13 日
<del>12</del>	<del>2021 年 10 月 25 日</del>	<del>150,000 円</del>	<del>2022 年 1 月 13 日</del>

\*NO. 12 は、NO. 6 と重複のため削除。



一般社団法人 千葉県社会福祉士会

## 2023 年度事業計画および予算

※2019 年度より、事業計画および予算については、理事会承認となりました。

2022 年度第 8 回理事会（2023 年 3 月 12 日（開催）で承認された、2023 年の事業計画および予算について、報告いたします。

## (1) 基本活動方針

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉の援助を必要とする方への生活と権利を擁護し、社会福祉に関する知識及び技術の普及・啓発を行うとともに、社会福祉事業に携わる専門職員に対する倫理の確保、技能の研鑽を行うことにより地域福祉サービスの推進と発展を図り、もって千葉県における社会福祉の増進に寄与していきます。

2021 年度に「事業と予算のあり方検討委員会」を立ちあげ、会の事業と予算のあり方について理事会に報告しました。その後理事を中心に経営戦略会議を開催し、具体的な財政基盤の強化と組織率の向上に向けて検討してまいりました。前年度に引き続き 30 歳以下を対象として、入会金及び年会費を入会年度無料とし若年層の入会促進を進めます。談話室を開催し、テーマ毎に交流の機会を設けました。今後も会に参加しやすい活動や研修を企画するとともに、既存の委員会や地区を再編し、会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供できるよう検討を加えていきます。

千葉県社会福祉士会は発足以来、日常生活や介護のことなど生活の困りごとが起きたときに「福祉の道案内役」として県民の皆様役に役立ててもらえるよう活動しています。昨年度は内閣府の実施する孤独孤立電話相談事業に協力しました。今年度も引き続き協力していきます。

権利擁護の支援として、成年後見制度の利用促進、各種相談対応、司法福祉、スクールソーシャルワーカー、子ども、若者分野に関する対応を行います。また、会員の活動参加の推奨、WEB 等での研修の充実として e ラーニング導入、ICT の活用等、時世に応じた活動、仕組みづくりに取り組みます。

司法や医療、教育等の他分野との協働を継続しながら、会員内外の方の思いやニーズを取り入れた活動を展開し、より魅力的な会になるよう努めます。

## (2) 2023 年度重点事業内容

- I. 総合相談のあり方を検証し、ソーシャルワークの実践力・指導力を高め、取り組んでいく。
- II. ICT 活用による情報の管理・発信の効率化を進め、事務局と委員会活動の事務分担を整理する。  
会員一人ひとりがメリットを感じられる魅力ある会の運営の検討を継続する。
- III. 災害時に必要な支援を整理して日頃の準備・連携・ネットワークを構築する。
- IV. 司法、教育、医療、行政、地域活動等の他分野と協働での活動を進める。
- V. 研修は e ラーニングを導入し会員の知識及び技術並びに倫理及び資質向上に資するよう活動を進める。
- VI. 権利擁護支援として、成年後見制度の適正な利用について会として関与する。
- VII. 会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供できるよう委員会・地区の再編を行う。
- VIII. 会のあり方を議論する場を設け、中長期的に 5 年後を見据え取り組むべきことを検証する。

### (3) 各委員会・部会

(1) 総務委員会
活動方針
<p>【委員会の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員同士がゼネラルにつながる活動</li> <li>・ 他の職能団体との協働による組織強化</li> </ul> <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022 年度は、地域集会では、全 14 地区中 11 地区で延べ 19 回の開催を予定している。オンラインの利便性だけでなく顔をあわせる有効性も見直されてきた。</li> <li>・ 談話室は、会員が活動と接点をつなぐ場となりつつあるが、今後、各委員会の人材確保と自然につながるよう検討したい。</li> <li>・ 精神保健福祉士協会中央ブロックからの申し出を受け拡大地域集会の位置づけで世話人・企画部会合同で調整を進めている。</li> <li>・ 2022 年度では、会報誌「点と線」を年 3 回発行。特集記事に、地域集会、他分野で活躍する社会福祉士の取り組みを紹介、通年記事で、委員会、地域集会の活動、社会福祉士の業務について情報共有した。広告利用が初めて 2 件実績につながった。</li> <li>・ 昨年度スクールソーシャルワーカーのライングループを立ち上げ、多職種へも広げたが抱える課題が職種や委託先により異なり、課題解決に向けた次への展開がしづらい。対象者別の部会運営に行き詰まりを感じた。地域集会、談話室等の場でつながりを求める人をキャッチできる仕組みを整え相談を受け止められる仕組みづくりをすすめるべきではないか。</li> </ul> <p>【次年度重点的に取り組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンラインを活用した地域集会の再開、未開催地区のてこ入れ</li> <li>・ 新入会員との交流</li> </ul>
企画部会活動予定
<p>① 企画部会運営（事業予算：22,500 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時及び定例会議 年間 3 回</li> <li>・ 必要に応じて世話人会を同時開催 年間 1 回</li> </ul> <p>② 福祉職地域交流促進事業（事業予算： 244,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域集会 14 地区にて延 20 回</li> <li>・ 拡大地域集会 1 回</li> <li>・ 談話室 理事会開催後 年 6 回</li> </ul> <p>③ ソーシャルワーカー三団体及び他職能団体との協働事業（事業予算： 32,668 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルワーカー三団体協働事業：会議と研修会実施</li> <li>・ 福祉と司法の千葉県連絡協議会：通年の会議と研修会、交流会実施</li> <li>・ スクールソーシャルワーク関連：求人協力、ネットワーク化、研修実施</li> </ul>
広報部会活動予定
<p>④ 広報部会運営費（事業予算：76,000 円）</p> <p>広報誌作成にあたる作業に対するスタッフ報酬 1 人 1 回：1000 円</p>



⑤ 点と線（会報誌）作成（事業予算：８５１，０７３円）
・年３回発行、会員の活動発表の場を包含。
・印刷部数 ２,５００部 電子メールでの配信も実施
・発送先：会員の他 行政、社会福祉施設、県民へ社会福祉士のＰＲ
⑥ ホームページの更新（事業予算：８，０００円）
・対象者：県民及び会員 社会福祉士試験の受験資格者等
・内容：本会活動情報、求人情報、その他社会福祉士に関連する有益な情報の提供

（２）総合相談委員会
活動方針
<p>【活動目的】</p> <p>市町村や地域包括支援センター職員を対象とした研修開催や、虐待対応専門職チーム員としての会議参加等を通じ、高齢者虐待に関わる関係機関の支援を行う。</p> <p>総合相談に関わる社会福祉士にとって一番大事にしたい様々などのつながりを、地域共生社会に向けていくには専門分野（縦）だけの繋がりではなく幅広い（横）繋がりを構築する。</p> <p>【これまでの実績と今後の課題】</p> <p>総合相談委員会では、千葉県からの受託事業として高齢者虐待防止対策研修を開催している。2019 年度から現行カリキュラムに変更している。2020 年度以降、新型コロナウイルスの影響で対面による集合研修の開催が困難となり、県と協議の上ＩＣＴを活用して開催したことで、遠方の方の参加が増えた。よって受講人数が増加傾向にある。</p> <p>県の高齢者虐待対応専門職チームへの派遣要請に対し、所定の研修を修了した会員を派遣し、必要な助言を行っている。日本社会福祉士会が主催する所定の研修終了者が少ないことから今後も受講者数を増やしていきたい。</p> <p>市町村から市町村職員や地域包括支援センター職員向けの高齢者虐待対応研修講師派遣依頼を受け、講師として会員を派遣している。</p> <p>今後の課題改善として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① これらの活動メンバーが変わりなく継続しているが人数も少なく、メンバー自身の業務増加により、今後誰が講師を行っても研修の質担保が図れるよう新たなメンバーを増やしていく必要がある。</li> <li>② 研修運営の効率化に向けて抜本的な見直しを行う。</li> <li>③ 委員会の名称にあるとおり幅広い横の繋がりが出来るような集まりや研修会、交流会を実施して、気軽に社会福祉士が話しやすい、集まりやすい場を構築していく。</li> </ol> <p>【重点取組項目】</p> <p>○高齢者虐待防止対策研修会の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ア．高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業（受託事業）</li> <li>イ．高齢者虐待防止対応専門職チームへの参加（受託事業）</li> <li>ウ．社会福祉士皆が集まり、交流できる場を作る。（新規事業）</li> </ol>
虐待対応部会活動予定
ア 高齢者虐待防止対策研修（事業予算：委託費 1,360,000 円）

- ・管理職、初任者対象 年間1回
- ・現任職員対象 年間1回（3日間）
- ・専門研修 年間1回

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの派遣（事業予算：120,000円）

千葉県弁護士会と協働して、市町村や地域包括支援センター等からの要請に応じて高齢者虐待対応を行う。

ウ 交流会（仮）年2回実施（事業予算：55,000円）

### （３）研修委員会

#### 活動方針

所属する会員が社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを目的とした『日本社会福祉士会生涯研修制度による研修』を中心に運営を行い、社会福祉士の受験対策や実習指導者養成を開催し、社会福祉士の資格獲得支援やスキルアップを目指す講座を行っていく。

#### ① 基礎研修

- ・生涯研修制度の基礎課程「基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を開催する。
- ・基礎研修Ⅰの一部にeラーニングを活用する。
- ・基礎研修Ⅱ、Ⅲについて、やむを得ず受講できなかった受講生に配慮し、近隣県で受講が出来るように他県との相互受講が出来るように再度の活動調整を行う。
- ・基礎研修Ⅰ、Ⅱ、Ⅲについてはリモートと一部集合研修にて研修を実施する。
- ・生涯研修制度・基礎課程修了者を中心に、スーパービジョンのコーディネート支援が求められている。スーパービジョン支援については、日本社会福祉士会の名簿があるが、実際、受けてくれる方はわずかであり、当会としてシステムを作らなければ現実的に厳しい。
- ・将来に向けて質の高い社会福祉士の育成確保に向け、社会福祉士養成校や民間との連携を毎年模索しているが、予算の確保や人員確保が難しく、現状からさらなる他の養成校や民間などの連携にはいたってはいないが、現状の養成校などの連絡体制のパイプは維持していけるように努めていく。

#### ② 実習指導者養成

当会の実習指導者講習会は毎年実施している。厚生労働省では社会福祉士養成カリキュラムの見直しがなされ、2022年度から大幅改定となり、新たに講師養成研修を受けて編成されたメンバーで今後も続けていく。

#### ③ 社会福祉士資格取得支援（国家試験受験対策含む）事業

質の高い社会福祉人材の育成に向け、社会福祉士養成校や民間との連携のもとで在学中および卒業後の学び合いの体制を構築していくことが求められている。特に養成校での国家試験受験対策や民間での受験者支援システムを展開していくことにより、学生や受験生へのソーシャルワークの理解促進などに取り組んでいく。尚、淑徳大学の講座はカリキュラム変更にて2023年度で終了となる。

#### ④ 先輩SWへの学び研修（この指とま〜れ）

2022年度まで予算化しておりましたが、収支上マイナス事業となる為、開催を中止して

おります。よって 2023 年度も開催はしない。	
活動予定	
①	研修啓発部会運営（事業予算：278,000 円） ・月例会議 年間 2 回 リーダー会議（オンライン集合 12 回）
②	県民公開講座 千葉県社会福祉士会として開催（予算化のみ）
③	基礎研修事業（日本社会福祉士会 委託事業） ア 基礎研修Ⅰ（事業予算：250,000 円） ・対象者： 50 名程度 ・実施時期 2023 年 5 月～2024 年 3 月（年 2 回） イ 基礎研修Ⅱ（事業予算：2,250,000 円） ・対象者： 50 名程度 ・実施時期 2023 年 5 月～2024 年 3 月（年 10 回） ウ 基礎研修Ⅲ（事業予算：1,800,000 円） ・対象者： 40 名程度 ・実施時期 2023 年 5 月～2024 年 3 月（年 8 回）
④	実習指導者講習会（事業予算：390,000 円） ・対象者：36 名程度 ・実施時期 2023 年 11 月中旬
⑤	社会福祉士資格取得支援（国家試験受験対策）事業 ア 淑徳大学講座（事業予算：480,000 円） ・対象者：淑徳大学 4 年生 年間 19 回 ・実施時期 2023 年 5 月～2024 年 1 月 イ 和洋女子大学社会福祉士取得支援講座（事業予算：700,000 円） ・年間 20 回（受験の心得講座含む） ・実施時期 2023 年 9 月～12 月 ウ ジェイシー教育研究所 WEB 模試問題作成（事業予算：1,380,920 円） インターネットを利用者した受験者支援システムを展開 ・実施時期 2023 年 6 月～2024 年 3 月
備考 その他の活動	
・日本社会福祉士会生涯研修委員会議（9～10 月頃・東京） ・基礎研修講師養成研修（2～3 月頃・東京）	

（４）権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会	
活動方針	
<p>ぱあとなあ千葉は、専門職後見人として、成年後見人等を担う人材の養成を行なうとともに、家庭裁判所・自治体・中核機関、関係機関等からの要請に応え、登録員の成年後見等の適切な受任を進める。地域共生社会の実現へ向けた権利擁護支援における「権利擁護支援チーム」と「地域連携ネットワーク」の構築や考え方を取り入れ、日々、実践に励む。</p> <p>また、ぱあとなあ千葉の登録員は、社会福祉士の専門職として求められる成年後見人等の活動が進められるよう登録員をサポートできる体制づくりを行う。具体的には、事務局の体制基盤の整</p>	

備(特に積極的な ICT 化と事務、運営執行体制の人員確保、支部制に向けた準備)に取り組む。  
受任会費の用途拡大と受任会費の上限撤廃等、ぱあとなあ千葉の業務全体の事務執行に関する財政基盤の整備をし、安定した活動の継続ができるようにしていく。

ICT 化を推進することで、活動報告書、各種手続き、ぱあとなあニュース等の案内は、ペーパーレスやデジタル化を基本とする。また、国の第二期成年後見制度利用促進計画を踏まえ、意思決定支援等の研修の充実、適切な選任、苦情や高齢や病気での後見人辞任対応等、各自治体等と連携の上、成年後見制度の健全な形で発展に向けたソーシャルアクションにも取り組む。

#### 運営委員会活動予定

①	運営委員会運営（事業予算：488,000 円） ・会議 年間 8 回（オンライン 6 回、集合 2 回）、3 役会議
②	全体会（事業予算：57,500 円） 運営委員会が主催し、登録員に対し、ぱあとなあ千葉の事業に関する報告、情報提供するとともに、諸課題に関する意見交換を行なう。・会議 年 1 回（集合）
③	ぱあとなあ千葉ニュース（事業予算：243,600 円） 登録員向けニュースレターの企画、編集、発行等を行なう。・発行 年 4 回
④	渉外・ソーシャルアクション（事業予算：92,000 円） 一般市民、部外関係機関等に対する広報、渉外、ソーシャルアクション等を行なう。
⑤	未成年後見（事業予算：45,000 円） 未成年後見受任のための体制整備、勉強会を行なう。
⑥	・会議 年 2 回（集合 1 回、オンライン 1 回） ICT 推進（事業予算：199,000 円） 52,500 円（会議費等）+ICT システムソフト維持管理費スタッフ報酬 ・会議 年 5 回（オンライン） 管理システムソフト導入（年間 500,000 円）※会全体で負担
⑦	支部設立準備会（事業予算：76,000 円） 各地域の支部作り（ブロック化）の準備を行なう。
⑧	・会議 年 4 回（集合 1 回、オンライン 3 回） 登録員のしおり（事業予算：0 円）

#### 研修部会活動予定

⑨	研修部会運営（事業予算：90,000 円） ・会議 年 3 回（オンライン 3 回）
⑩	成年後見人材育成研修（事業予算：670,000 円） 収入 1,800,000 円(5 万円×36 名) 基礎研修Ⅲ修了者を対象に、社会福祉士に相応しい成年後見活動を担える成年後見人の人材育成研修を行なう。 ・研修 年 1 回 対象者：基礎研修Ⅲ終了者 受講単価 50,000 円
⑪	名簿登録研修（事業予算：230,000 円） 収入 250,000 円(5 千円×50 名) 上記の成年後見人人材育成研修修了者を対象に、ぱあとなあ千葉の登録員となるための研修を行なう。受講単価 5,000 円 ・研修 年 1 回 対象者：人材育成研修終了者

⑫	<p>必須登録員研修（事業予算：260,000 円） 収入 270,000 円(千円×2×135 名) 登録員全員が対象。後見活動に必須となる基本知識の再確認、新知識の習得等のための研修を行なう（年 1 回以上の参加が、次年度の後見人等候補者推薦の要件）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 年 2 回（参加者：登録員のべ 320 名）受講単価 1,000 円</li> </ul>
⑬	<p>ぱあとなあ千葉サポート研修（事業予算：285,000 円） 収入 298,000 円(千円×298 名) 実務経験 3 年未満の登録員を対象として、後見事務の基本知識、スキルを習得する研修を企画、実施する。受講単価 1,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 年 9 回（参加者：登録員のべ 240 名）</li> </ul>
⑭	<p>レベルアップ研修（事業予算：11,7000 円） 収入 120,000 円（1,500 円×2 回×40 名）</p>
⑮	<p>実務経験 3 年以上の登録員の知識、スキルアップに向けた研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 年 2 回（参加者：登録員のべ 70 名）</li> </ul> <p>弁護士との事例検討会事業（事業予算：107,000 円）収入 120,000 円(1,500 円×2 回×40 名) 登録員を対象として、後見事務遂行上の法的課題に関する知識、解決方法を習得する</p>
⑯	<p>研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 年 2 回（対象者：登録員のべ 80 名）</li> </ul> <p>支援者のための成年後見活用講座（事業予算：322,000 円） 収入 328,000 円 成年後見制度の普及、利用支援等に係わる自治体、福祉関係機関の支援者を対象として、成年後見制度に関する基本知識、活用方法の習得のための研修を企画、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 年 1 回（対象者：自治体、福祉関係者 40 名）</li> </ul>
コーディネート部会活動予定	
⑰	<p>コーディネート（事業予算：1,047,000 円） 家庭裁判所、自治体等からの後見人等候補推薦の要請を受け、事案に相応しい候補を登録員の中から選出、依頼、確定し、推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議 年 10 回（オンライン会議 8 回、集合会議 2 回）</li> <li>・コーディネート作業（500 件）</li> </ul>
⑱	<p>相談事業（事業予算：605,000 円） 一般市民、自治体・福祉関係者等から、成年後見制度の活用方法等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。また、ぱあとなあ千葉登録員から、成年後見人等の活動等に関する相談に関して、電話、訪問・面談に応じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談 年 150 日、訪問相談 年 30 件</li> </ul>
業務管理部会活動予定	
⑲	<p>活動報告書読み込み作業（事業予算：757,500 円） 部会員が、登録員から毎年 2 月に提出される受任案件に関する活動報告書を読み込み、後見事務遂行上の課題等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議 年 3 回（オンライン会議 1 回、集合会議 1 回）</li> <li>・点検・読み込み作業（1,800 件）</li> </ul>
⑳	<p>受任者面接（事業予算：195,500 円） 活動報告書の読み込み等を通じ、課題を抱えている登録員、経験の浅い登録員、多数案</p>

	<p>件受任の登録員等に対して、部会員が面談し、必要な場合、指導、助言を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接 年 25 人</li> </ul>
②①	<p>法人後見事業（事業予算：277,000 円）報酬助成 216,000 円</p> <p>当会が受任した法人後見の実施、管理を行なう。</p>
報酬助成審査会活動予定	
②②	<p>報酬助成事業（事業予算 1,880,000 円）受任会費 234,000 円</p> <p>無報酬・低報酬案件を受任した登録員に対する報酬助成制度の運用として、原資となる受任会費の徴収、報酬助成の申請受付、審査、支給に関する事務を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受任会費徴収作業・報酬助成受付・審査・支給作業</li> </ul> <p>※受任会費の使途拡大、受任会費の上限撤廃</p>
その他	
②③	<p>独立型社会福祉士部会 準備会（事業予算：0 円→30,000 円）</p> <p>年 3 回会議（オンライン）</p>
②④	<p>リスクマネジメント部会（事業予算：0 円）</p>
名簿登録	
②⑤	<p>名簿登録料（事業予算 800,000 円）名簿登録料 3,300,000 円</p> <p>成年後見人等候補者名簿への登録を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本会負担金 330 人×2,424 円=799,920 円</li> </ul>
(5) 司法福祉委員会	
活動方針	
<p>司法福祉委員会は、刑事司法ソーシャルワーカーを育て高齢者・障害者の被疑者・被告人の支援に弁護士と協同し福祉的支援で関わっていく。刑事司法ソーシャルワーカーとしての実質的な専門性を習得するために、認定機構研修の刑事司法ソーシャルワーカー養成講座（基礎編・応用編）を開催する。受講終了後、刑事司法ソーシャルワーカーとして登録することで、弁護士からの事件依頼を受任（マッチング支援事業）し実践を目指す。また、刑事司法ソーシャルワーカーとしてブラッシュアップの為に学習会等を開催する。</p>	
活動予定	
①	<p>司法福祉委員会の開催（事業予算：120,000 円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月例会議 年 3 回</li> </ul>
②	<p>刑事司法ソーシャルワーカー養成事業</p> <p>基礎編（事業予算：600,000 円 財源：参加費）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：司法福祉に関心のある社会福祉士会員 40 名程度</li> <li>・実施時期 2023 年 7 月下旬の土日</li> </ul> <p>応用編（事業予算：600,000 円 財源：参加費）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：司法福祉の実践理論を学び登録員を希望する会員 40 名程度</li> <li>・実施時期 2024 年 1 月下旬の土日</li> </ul>
③	<p>学習会 年間 3 回（事業予算：20,000 円 財源：参加費等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刑事司法ソーシャルワーカーの実践報告</li> <li>・弁護士等の講師による講義</li> <li>・書籍「刑事司法ソーシャルワーカーの実務」の学習</li> </ul>

- ④ マッチング支援事業(事業予算: 6,000 円)
- ・千葉県弁護士会からの依頼により、刑事司法ソーシャルワーカーとして登録したメンバーの中からマッチング支援する。受任者は、依頼のあった弁護士と協働し高齢者・障害者の被疑者・被告人の支援を行う。

## (6) 災害対策委員会

### 活動方針

千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドライン（以下、「ガイドライン」と記す。）に基づき、災害対応体制の整備・拡充、千葉県等関係団体との連携・情報共有を以下により推進する。

#### ①災害対応体制の整備・拡充

##### ・重点事項 1-1

「ガイドライン」に基づく「被災地支援活動協力員名簿」の適切な維持管理に努め、災害発生時に即応できる体制を整備する。

##### ・重点事項 1-2

被災地支援活動協力員名簿登録者を質・量ともに十分に確保するため、名簿未登録の会員、十分な事前説明の無いまま登録者となっている会員に対し、被災地支援活動説明会を開催する。

##### ・重点事項 1-3

災害対策委員会・被災地支援活動協力員相互の良好なコミュニケーションを確保するために情報共有・意見交換等の活性化を図るとともに災害時要配慮者への関心の醸成にも取り組む。

#### ②他団体との連携・情報共有

##### ・重点事項 2-1

日本社会福祉士会及び同会関東甲信越ブロックにおける災害支援連携会議・研修会等への参加を通じて、他都道府県社会福祉士会との連携・情報共有を図る。

##### ・重点事項 2-2

千葉県災害ボランティアセンター連絡会における 9 都県市合同防災訓練・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等への参加を通じて、関係団体との連携・情報共有を図る。

##### ・重点事項 2-3

千葉県災害復興支援士業ネットワークへの参加を通じて、千葉県弁護士会等専門職団体との連携・情報共有を図る。

#### ③「千葉県災害福祉支援ネットワーク」への参画推進

2020 年 7 月に千葉県等との間で締結した「災害福祉支援チーム (DWAT) 派遣に関する基本協定書」に基づく標記「ネットワーク」への参画を以下により推進する。

##### ・重点事項 3-1

研修会、模擬訓練等において、ソーシャルワーク専門職の視点からの提言を積極的に行う。

##### ・重点事項 3-2

「千葉県災害福祉支援ネットワーク」に関して、千葉県社会福祉士会会員に対する情報発信を行い、「災害福祉支援チーム (DWAT)」に対する意識啓発・登録促進を図る。

### 活動予定

- ① 被災地支援活動協力員名簿登録者・未登録者を対象に災地支援活動説明会を開催する。
- ② 九都県市合同防災訓練には、役員以外の被災地支援活動協力員にも参加を呼びかける。

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| ③ | 委員会・協力員間のコミュニケーションツールとして「災・コ・メ」を発行する。 |
| ④ | 災害時要配慮者への取り組みを含め、災害対策に関連する多様な情報を共有する。 |
| ⑤ | 広域避難等に対応するため他都道府県社会福祉士会との共同研修実施を検討する。 |

(7) その他
---------

① 千葉県社会福祉士会倫理委員会
------------------

<p>会員による倫理綱領違反等が疑われる事案が発生した場合、苦情手続規則に基づき倫理委員会が審査を行い、本会に所属する社会福祉士の倫理及び資質の向上に努めていく。</p>
---

② 松戸市居住不安定者等居宅生活移行支援事業業務受託
----------------------------

<p>2016 年度から松戸市より委託を受けている本事業も 7 年目に入り、本業務は、住まいを失った、又は失うおそれのある生活困窮者及び生活保護受給者（以下「生活保護受給者等」という）に対し、民間賃貸住宅又は社会福祉法に規定する 事業を行うための施設等（無料低額宿泊所等を除く。以下「社会福祉施設」という）へ の入居（以下「居宅生活移行」という）を促進するとともに、居宅生活移行後も地域で の安定した生活を維持し円滑に定着できるように継続して支援し、もって自立を促進することを目的とする業務である。</p>
---

<p>具体的には、（１）支援対象者に対し、居宅生活移行に関する次の相談支援業務を行う。① 無料低額宿泊所等の入居者に対する社会的自立支援に関すること。② 居住先となる民間賃貸住宅及び社会福祉施設の確保支援に関すること。③ 家賃滞納者等の家賃の代理納付の推進に関すること。（２）支援対象者に対し、居宅生活移行後の地域生活の定着・維持に関する次の相談支援業務を行う。① 年齢や心身の状況などに応じた支援策の策定に関すること。② 円滑な地域生活への移行及び安定した地域生活の定着・維持のための支援に関することを常勤 1 名非常勤 1 名を配置して事業受託を継続していく。</p>
--

<p>・ 想定委託期間 ：2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで</p>
---

<p>・ 想定委託金額 ：12,996,352 円</p>
-------------------------------



## 2023年度収支予算書

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位:円)

科目			2022予算(補正反映後)			2023予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入－支出	(収入)	(支出)	収入－支出
<b>1 会費</b>			26,748,500	8,363,940	18,384,560	28,595,000	9,200,000	19,395,000
<b>1 会費</b>			23,450,500	7,805,000	15,645,500	25,222,000	8,400,000	16,822,000
	1	正会員	23,432,500	7,805,000	15,627,500	25,200,000	8,400,000	16,800,000
	2	準会員	6,000	0	6,000	10,000	0	10,000
	3	賛助会員	12,000	0	12,000	12,000	0	12,000
	4	負担金 (2022年度～会費規則第2号)	0	0	0	0	0	0
	5	入会金	0	0	0	0	0	0
	2	ばあとなあ登録料	3,298,000	558,940	2,739,060	3,373,000	800,000	2,573,000
	1	ばあとなあ名簿登録料	3,225,000	558,940	2,666,060	3,300,000	800,000	2,500,000
	2	ばあとなあ準会員登録料	73,000	0	73,000	73,000	0	73,000
<b>2 事業費</b>			29,344,393	24,515,095	4,829,298	28,783,272	28,878,789	△ 95,517
<b>1 総務事業</b>			115,000	1,102,000	△ 987,000	50,000	1,234,241	△ 1,184,241
	1	企画部会運営費	0	10,000	△ 10,000	0	22,500	△ 22,500
	2	SW3団体及びその他職能団体との協働事業費	0	10,000	△ 10,000	0	32,668	△ 32,668
	3	福祉職地域交流促進事業費	0	100,000	△ 100,000	0	244,000	△ 244,000
	6	広報誌作成費	115,000	900,000	△ 785,000	50,000	851,073	△ 801,073
	8	広報部会運営費	0	74,000	△ 74,000	0	76,000	△ 76,000
	9	WEB維持管理費	0	8,000	△ 8,000	0	8,000	△ 8,000
<b>2 総合相談事業</b>			1,404,000	538,000	866,000	1,484,000	1,034,000	450,000
	1	総合相談委員会運営費	0	0	0	0	0	0
	2	高齢者虐待防止対策研修会(県事業)	1,364,000	500,000	864,000	1,364,000	859,000	505,000
	3	高齢者虐待対応専門職チーム	40,000	38,000	2,000	120,000	120,000	0
	6	千葉県高齢者虐待対応マニュアル改訂事業	0	0	0	0	0	0
	7	【新規】総合相談業務を担う社会福祉士の集い	0	0	0	0	55,000	△ 55,000
<b>3 研修事業</b>			7,707,900	4,187,931	3,519,969	7,250,920	4,644,173	2,606,747
	1	研修委員会運営費	0	97,500	△ 97,500	0	278,000	△ 278,000
	2	県民公開講座(研究大会・総会)	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	3	基礎研修Ⅰ	639,000	474,200	164,800	250,000	271,364	△ 21,364
	4	基礎研修Ⅱ	2,535,000	795,891	1,739,109	2,250,000	882,273	1,367,727
	5	基礎研修Ⅲ	1,736,000	968,895	767,105	1,800,000	773,818	1,026,182
	6	ジェイシー教育研究所web模試問題作成	1,450,900	1,123,684	327,216	1,380,920	1,330,900	50,020
	7	社会福祉士取得支援講座(和洋女子大学)	700,000	330,779	369,221	700,000	408,818	291,182
	8	実習指導者講習会	427,000	261,178	165,822	390,000	348,000	42,000
	10	淑徳大学講師派遣	220,000	135,804	84,196	480,000	321,000	159,000

科目			2022予算(補正反映後)			2023予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入－支出	(収入)	(支出)	収入－支出
	12	社会福祉士ワンアップ研修(基礎研修終了者)	0	0	0	0	0	0
	14	グループワーク研修	0	0	0	0	0	0
	16	先輩SWへの学び研修(旧この指と〜まれ)	0	0	0	0	0	0
<b>4 ばあとなあ千葉運営事業</b>			5,650,000	5,755,344	△ 105,344	5,742,000	8,046,100	△ 2,304,100
	1	ばあとなあ委員会運営費	0	500,000	△ 500,000	0	578,000	△ 578,000
	3	相談事業	0	450,000	△ 450,000	0	605,000	△ 605,000
	4	成年後見制度活用講座	330,000	90,000	240,000	328,000	322,000	6,000
	5	成年後見人材育成研修(委託研修)	1,900,000	750,000	1,150,000	1,800,000	670,000	1,130,000
	6	法人後見事業	216,000	272,000	△ 56,000	216,000	277,000	△ 61,000
	7	活動報告書読み込み作業	0	812,000	△ 812,000	0	757,500	△ 757,500
	9	渉外・ソーシャルアクション	0	60,000	△ 60,000	0	92,000	△ 92,000
	10	受任者面接	0	40,000	△ 40,000	0	195,500	△ 195,500
	11	ばあとなあ千葉ニュース	0	160,000	△ 160,000	0	243,600	△ 243,600
	12	コーディネート会議	0	985,000	△ 985,000	0	1,047,000	△ 1,047,000
	13	名簿登録研修	160,000	185,000	△ 25,000	250,000	230,000	20,000
	14	必須登録員研修	270,000	200,000	70,000	270,000	260,000	10,000
	15	千葉サポート	270,000	120,000	150,000	298,000	285,000	13,000
	16	レベルアップ研修	90,000	90,000	0	120,000	117,000	3,000
	18	テーマ別弁護士との事例検討会	70,000	90,000	△ 20,000	120,000	107,000	13,000
	19	独立型社会福祉士部会準備会	0	0	0	0	30,000	△ 30,000
	21	ばあとなあ千葉全体会	0	25,000	△ 25,000	0	57,500	△ 57,500
	22	個人情報保護 相談委託業務	0	0	0	0	0	0
	24	未成年後見	0	25,000	△ 25,000	0	45,000	△ 45,000
	26	報酬助成事業(受任会費含む)	2,344,000	781,344	1,562,656	2,340,000	1,880,000	460,000
	27	支部設立準備事業	0	0	0	0	48,000	△ 48,000
	28	ICT推進	0	120,000	△ 120,000	0	199,000	△ 199,000
<b>5 司法福祉</b>			1,219,833	511,185	708,648	1,210,000	528,001	681,999
	1	司法福祉委員会運営費	1,833	2,182	△ 349	0	120,000	△ 120,000
	2	司法福祉学習会	10,000	20,418	△ 10,418	10,000	20,455	△ 10,455
	3	刑事司法SW養成講座(基礎)	799,800	287,065	512,735	600,000	173,273	426,727
	4	刑事司法SW養成講座(応用編)	408,200	199,120	209,080	600,000	208,273	391,727
	5	マッチング支援	0	2,400	△ 2,400	0	6,000	△ 6,000
<b>6 災害対策</b>			0	72,004	△ 72,004	0	90,000	△ 90,000
	1	千葉県社会福祉士会災害対策委員会	0	61,004	△ 61,004	0	80,000	△ 80,000
	2	災害対策研修	0	11,000	△ 11,000	0	10,000	△ 10,000

科目			2022予算(補正反映後)			2023予算		
大項目	中項目	小項目	(決算収入)	(決算支出)	収入－支出	(収入)	(支出)	収入－支出
<b>7</b>	<b>その他</b>		13,247,660	12,348,631	899,029	13,046,352	13,302,274	△ 255,922
	1	千葉県社会福祉士会倫理委員会	0	300,000	△ 300,000	0	300,000	△ 300,000
	2	社会福祉士ささえあい制度配分委員会	0	0	0	0	0	0
	3	選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0
	4	法人後見監査業務委員会	0	0	0	0	80,000	△ 80,000
	5	居住確保支援事業	12,366,660	11,182,631	1,184,029	12,996,352	11,922,274	1,074,078
	7	社会福祉士会活性化事業	820,000	600,000	220,000	0	0	0
	8	講師派遣事業	61,000	41,000	20,000	50,000	45,000	5,000
	9	ICT推進委員会	0	225,000	△ 225,000	0	955,000	△ 955,000
<b>3</b>	<b>事務費</b>		0	19,463,287	△ 19,463,287	0	21,699,483	△ 21,699,483
	1	消耗品費	0	430,886	△ 430,886	0	450,000	△ 450,000
	2	印刷製本費	0	809,781	△ 809,781	0	710,000	△ 710,000
	3	通信運搬費	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	1,000,000	△ 1,000,000
	4	慶弔費	0	10,000	△ 10,000	0	30,000	△ 30,000
	5	賃金等	0	11,468,310	△ 11,468,310	0	13,238,683	△ 13,238,683
	6	法定福利費	0	1,640,438	△ 1,640,438	0	1,900,000	△ 1,900,000
	7	水道光熱費	0	132,000	△ 132,000	0	0	0
	8	賃借料	0	1,640,890	△ 1,640,890	0	1,600,000	△ 1,600,000
	9	委託料	0	904,445	△ 904,445	0	1,050,000	△ 1,050,000
	10	役員報酬	0	919,800	△ 919,800	0	987,500	△ 987,500
	11	役員旅費	0	187,022	△ 187,022	0	100,000	△ 100,000
	12	役員選挙事務費	0	0	0	0	240,000	△ 240,000
	13	保険料	0	40,000	△ 40,000	0	40,000	△ 40,000
	14	会議費	0	0	0	0	73,300	△ 73,300
	15	諸会費	0	22,750	△ 22,750	0	30,000	△ 30,000
	16	雑費	0	256,965	△ 256,965	0	250,000	△ 250,000
<b>4</b>	<b>助成金</b>		0	0	0	0	0	0
<b>5</b>	<b>寄付金</b>		0	0	0	0	0	0
<b>6</b>	<b>繰越金</b>		0	0	0	3,000,000	0	3,000,000
<b>7</b>	<b>雑収入</b>		50,120	0	50,120	100,000	0	100,000
<b>8</b>	<b>租税公課</b>		0	683,000	△ 683,000	0	700,000	△ 700,000
<b>9</b>	<b>敷金支出</b>		0	0	0	0	0	0
<b>10</b>	<b>予備費</b>		0	1,000,000	△ 1,000,000	0	0	0
<b>11</b>	<b>配分金</b>		0	0	0	0	0	0
<b>総計</b>			56,143,013	54,025,322	2,117,691	60,478,272	60,478,272	0